

J X手順__TF 6 G・他社EDI 用向け



iTERAN/AE 操作マニュアル

【 第 1.1 版 】

2022 年 06 月 20 日

富士通 Japan 株式会社

目次	
1. はじめに	1
2. ご利用の流れ	2
3. 画面遷移図	3
4. 利用会社登録	4
5. 接続情報設定	6
6. 通信ファイル設定	9
7. データ受信	15
8. データファイル出力	18
9. データ送信	20
10. 画面操作詳細	23
10-1. データ受信画面	23
10-2. データファイル出力画面	25
10-3. データ送信画面	27
10-4. 利用会社マスタメンテ画面	29
10-5. 通信設定画面	30
10-6. 通信ファイル設定画面	32
付録1. 接続先を新たに追加するには	36
付録2. 変換文字コード表	37
付録3. F A Q	43
付録3-1. 受信エラーに関するご質問	43
付録3-2. データファイル出力画面エラーに関するご質問	50
付録3-3. データ送信エラーに関するご質問	51
付録3-4. 通信ファイル設定保存時エラーに関するご質問	54

1. はじめに

本書には iTERAN／AE の画面操作方法を中心に記載しています。

iTERAN／AE のインストール、お問合せ先等につきましては、
別紙「J X手順__T F 6 G・他社E D I 用向けかんたんセットアップガイド」をご参照ください。

また、本書に記載されている用語等は、別紙「iTeranAE 共通機能マニュアル」の付録. 用語集をご参照ください。

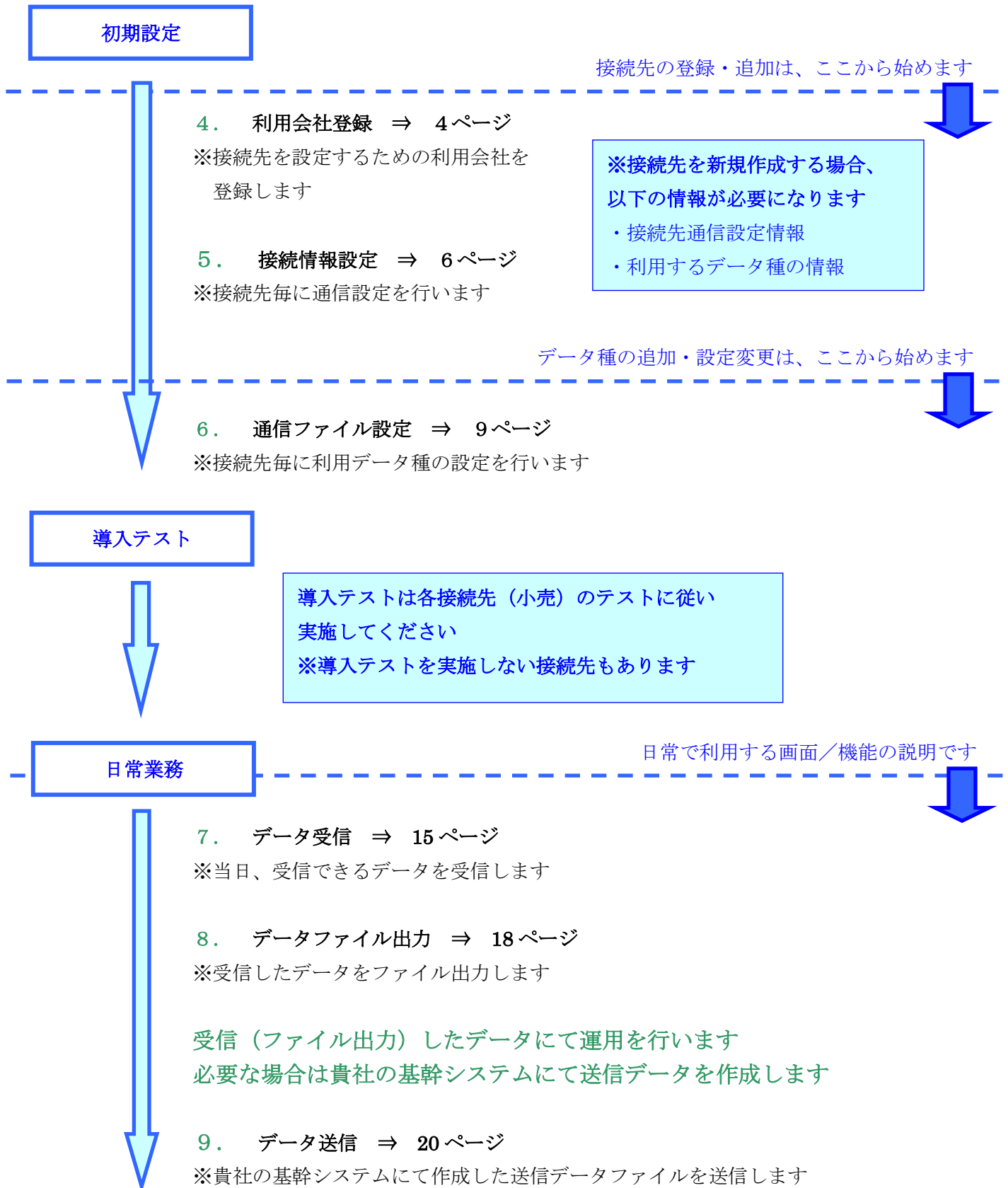
※本書では Windows10 の画面例を記載しています。Windows 7、Windows 8.1 では動作が若干異なる場合があります。

◆操作マニュアルの使い方

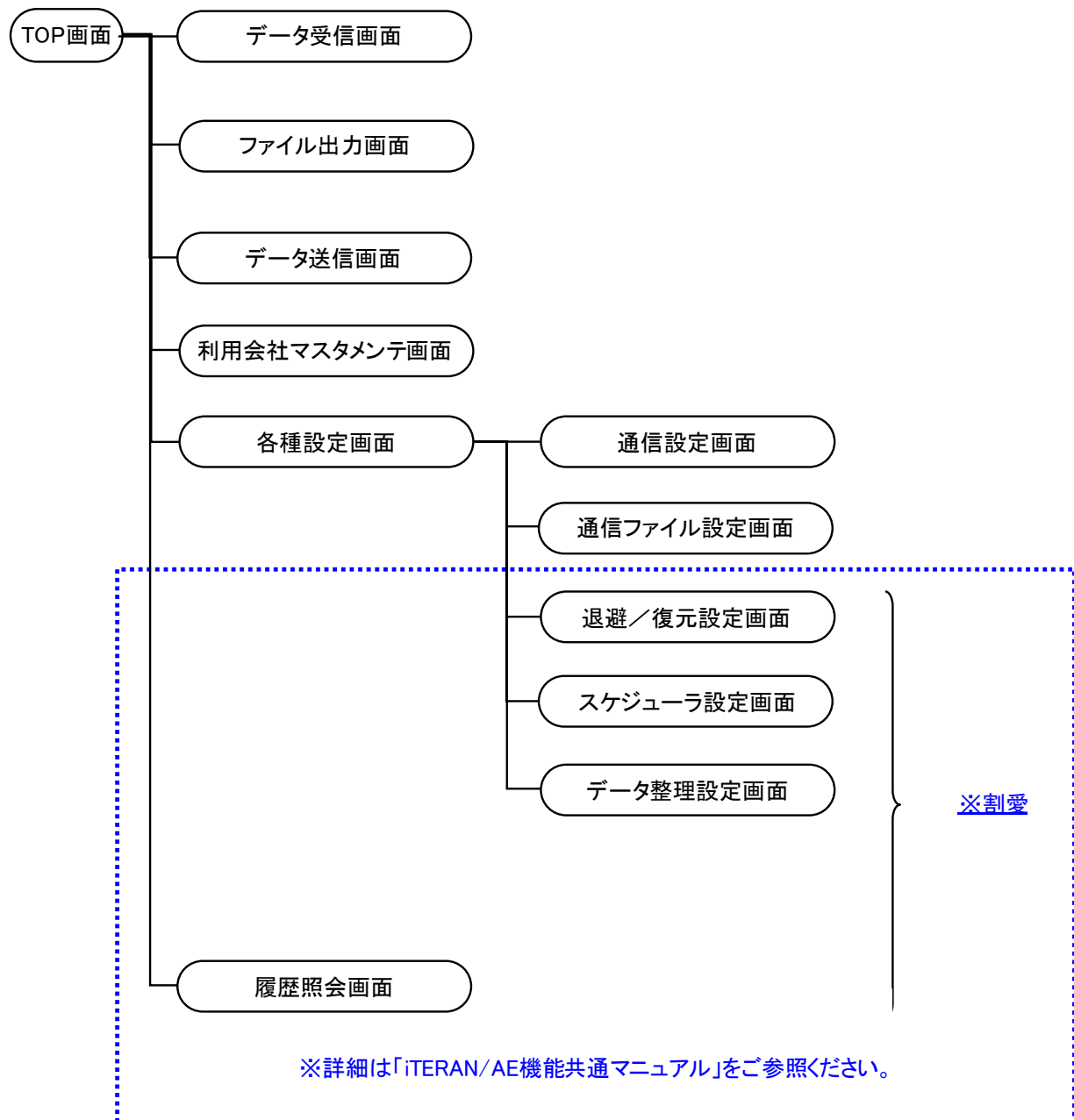
本書は「ご利用の流れ」「画面操作詳細」の2つの構成となっています。

ご利用方法の流れを「2. ご利用の流れ」でご確認いただき、それぞれの操作方法、表示項目等は「4. データ受信」以降の該当ページをご参照ください。

2. ご利用の流れ



3. 画面遷移図



※「iTERAN／AE 機能共通マニュアル」の内、各種設定業務では
 「スケジューラ設定」、「退避／復元」、「データ整理設定」のみご参照ください。
 本パターンファイルではご利用できない機能もあります。

4. 利用会社登録

iTERAN を利用するための利用会社を登録します

本パターンファイルでは1つの接続先（小売）につき1利用会社の登録が必要です

- ① 「利用会社の登録」 ボタンをクリックします



- ② 「利用会社コード」に値を入力し「新規」ボタンをクリックします

※利用会社コード・・・ 「00001」を入力します

※利用会社コードが既に登録されている場合は「00002」「00003」

などの5桁の連番を指定してください

※同じコードを複数登録することはできません



項目名が「利用会社コード」となっていますが、貴社の取引先コードを入力するものではありません

※入力したコードは受送信時に利用するものではありません

- ③ 「利用会社名（漢字）」「利用会社名（カナ）」を入力し「保存」ボタンをクリックします

※利用会社名（漢字）・・・ 貴社名（全角／漢字名称）を入力します

利用会社名（カナ）・・・ 貴社名（半角カナ名称）を入力します

利用会社マスタメンテ

取消(F9) 新規(F2) 変更(F8) 削除(F8) **保存(F4)** 閉じる(F12)

利用会社コード: 00001

利用会社名(漢字): サンプルユーザ

利用会社名(カナ): サンプルユーザ

作成日: 更新日:

項目名が「利用会社名（漢字）」
「利用会社名（カナ）」は貴社名を
ご入力ください

※入力した名称は受送信時に
利用するものではありません

- ④ 「閉じる」ボタンをクリックします

利用会社マスタメンテ

取消(F9) 新規(F2) 変更(F8) 削除(F8) 保存(F4) **閉じる(F12)**

利用会社コード:

利用会社名(漢字):

利用会社名(カナ):

作成日: 更新日:

5. 接続情報設定

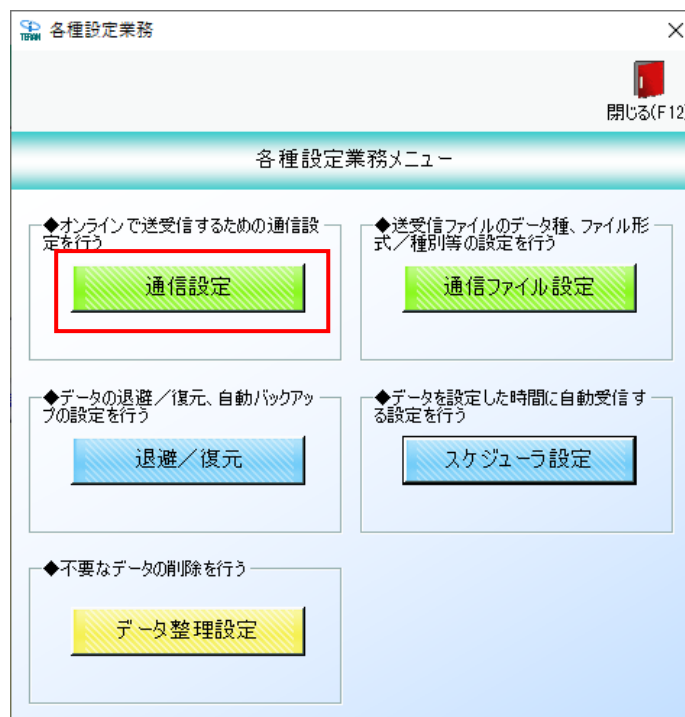
接続先（小売）へ通信するための情報を設定します

接続情報を設定しないとファイルの受送信が行えませんので必ず実施してください

- ① 接続先情報を設定する「利用会社」を選択し、「各種設定」ボタンをクリックします



- ② 「通信設定」ボタンをクリックします



③ 通信情報を入力します

接続先（小売）に接続するための情報をご入力ください

接続するための情報に不明点がある場合は
各接続先のお問合せ先にご連絡ください

■通信基本情報

接続先URL . . . 接続先のURL（エンドポイント）を入力
 相手先URI . . . 相手先（接続先側）のURIを入力
 相手先識別子 . . . 相手先（接続先側）の識別子を入力
 当方URI . . . 当方（貴社側）のURIを入力
 当方識別子 . . . 当方（貴社側）の識別子を入力

■ベーシック認証を利用する場合

- i. 「ベーシック認証を利用する」にチェック
- ii. 「ベーシック認証ID」にベーシック認証ユーザのIDを入力
- iii. 「ベーシック認証パスワード」にベーシック認証のパスワードを入力

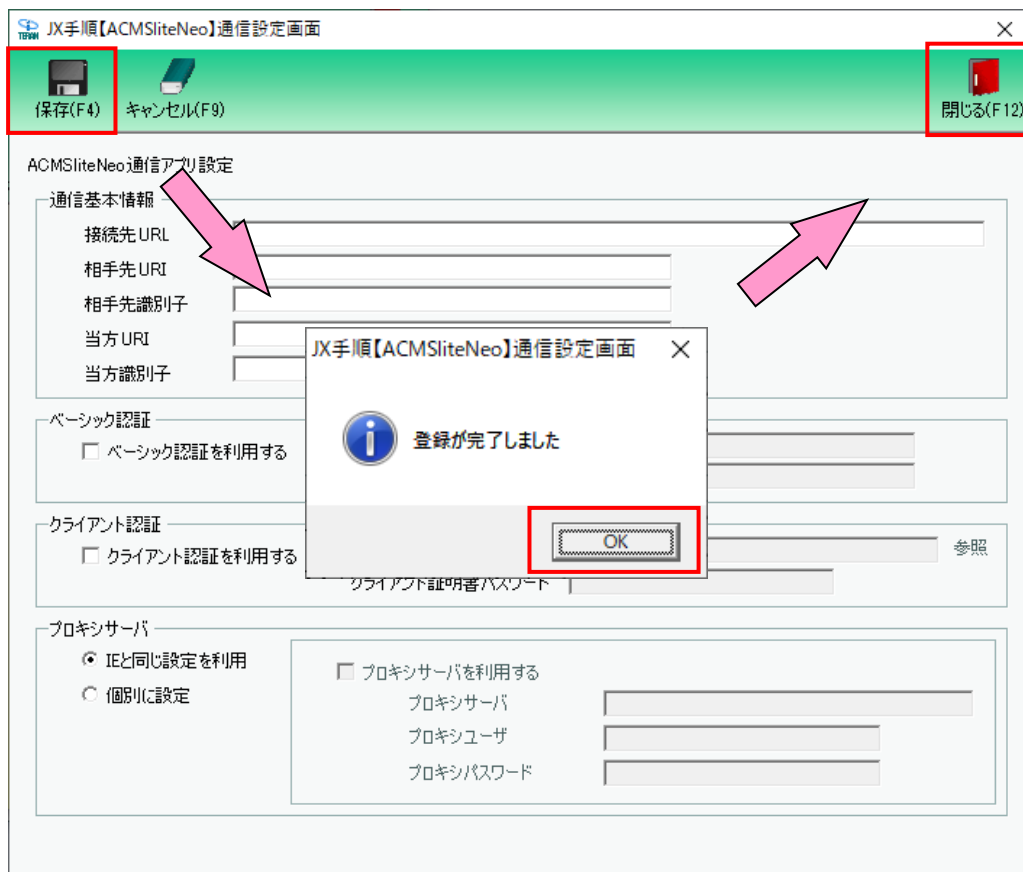
■クライアント認証を利用する場合

- i. 「クライアント認証を利用する」にチェック
- ii. 「クライアント証明書パス」に接続先から取得したクライアント証明書のパスを選択または入力
- iii. 「クライアント証明書パスワード」に上記で指定したクライアント証明書のパスワードを入力

※プロキシサーバ情報につきましては、通信時に常にプロキシユーザ／パスワードが求められる等、必要な場合にのみ入力してください

プロキシサーバの情報につきましては、貴社のネットワーク担当者にご確認ください

- ④ 「保存」ボタンをクリックし、表示されたメッセージで「OK」ボタンクリック後「閉じる」ボタンをクリックします



※続いて、「通信ファイル設定」を行います

各種設定メニューは開いたまま次項へお進みください

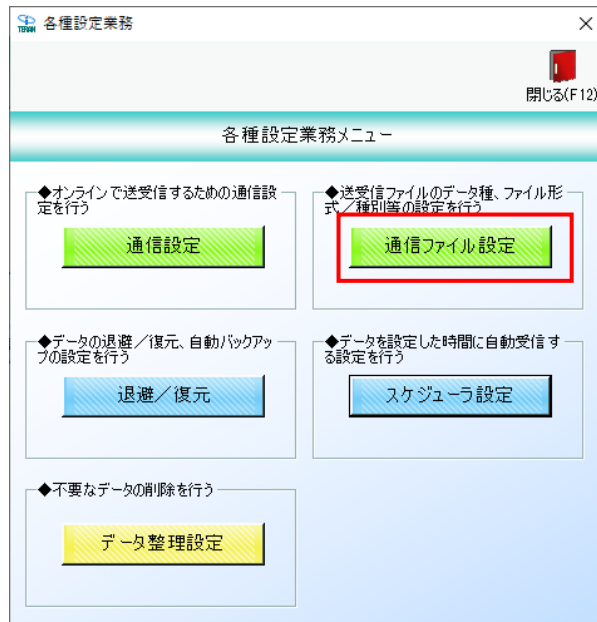
6. 通信ファイル設定

接続先（小売）へ受送信を行うファイル（データ種）情報を設定します

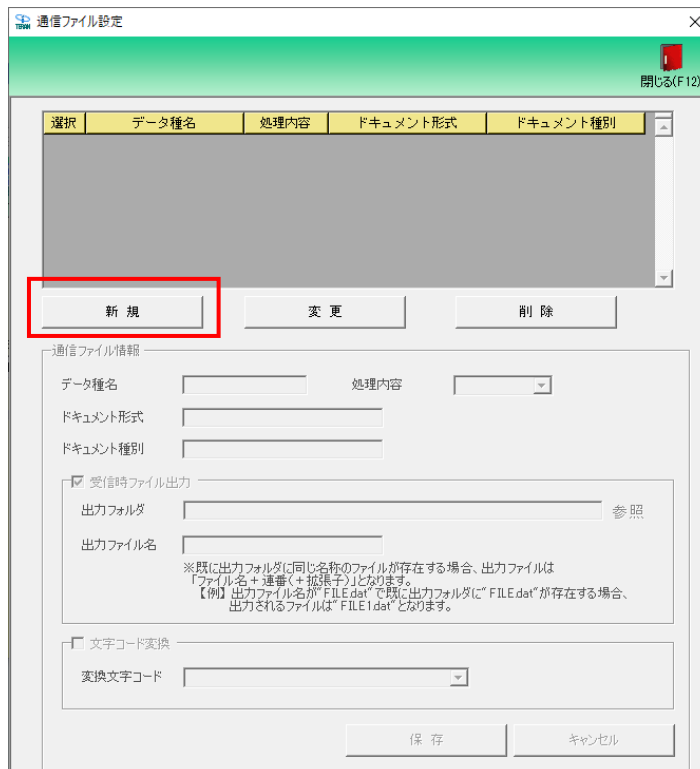
通信ファイル情報を設定しないとファイルの受送信が行えませんので必ず実施してください

- ① 「通信ファイル設定」ボタンをクリックします

※トップメニューを開いている場合は、「各種設定」ボタンをクリック後に当画面を開いてください



- ② 「新規」ボタンをクリックします



③ 通信ファイル情報を入力します

受送信するファイルの情報をご入力ください

通信ファイル情報に不明点がある場合は
各接続先のお問合せ先にご連絡ください


開じる(F12)

選択	データ種名	処理内容	ドキュメント形式	ドキュメント種別

新規
変更
削除

→通信ファイル情報

データ種名

処理内容

▼

ドキュメント形式

ドキュメント種別

☐ 受信時ファイル出力

出力フォルダ

参照

出力ファイル名

※既に出力フォルダに同じ名称のファイルが存在する場合、出力ファイルは「ファイル名 + 連番(＋拡張子)」となります。
 【例】出力ファイル名が「FILE.dat」で既に出力フォルダに「FILE.dat」が存在する場合、出力されるファイルは「FILE1.dat」となります。

☐ 文字コード変換

変換文字コード

▼

保存
キャンセル

■通信ファイル情報

データ種名 . . . 受送信するデータ種の名称を入力

※接続先（小売）の指定データ種名と異なっても問題ありません

処理内容 . . . 対象受送信ファイルの受信／送信区分を選択

ドキュメント形式 . . . 接続先が指定した対象受送信ファイルのドキュメント形式を入力

ドキュメント種別 . . . 接続先が指定した対象受送信ファイルのドキュメント種別を入力

※ドキュメント形式、ドキュメント種別は入力間違いがあった場合受送信時にエラーとなりますので
ご注意ください

- ④ 受信ファイルを受信時に指定の場所に出力したい場合は「受信時ファイル出力を設定します
 受送信時に文字コードを変換したい場合は「文字コード変換」を設定します

通信ファイル設定

閉じる(F12)

選択	データ種名	処理内容	ドキュメント形式	ドキュメント種別

新規 変更 削除

通信ファイル情報

データ種名 処理内容 0:受信

ドキュメント形式

ドキュメント種別

☒ 受信時ファイル出力

出力フォルダ [参照](#)

出力ファイル名

※既に出力フォルダに同じ名称のファイルが存在する場合、出力ファイルは「ファイル名 + 連番(+ 拡張子)」となります。
 【例】出力ファイル名が「FILE.dat」で既に出力フォルダに「FILE.dat」が存在する場合、出力されるファイルは「FILE1.dat」となります。

☐ 文字コード変換

変換文字コード

保存 キャンセル

■受信時ファイル出力設定を利用する場合

- i. 「出力フォルダ」に出力場所（出力するフォルダのパス）を選択または入力
- ii. 「出力ファイル名」に出力するファイルの名称を入力

※処理内容で「1：送信」を選択した場合は指定できません

※受信時にファイル出力を利用しない場合は「受信時ファイル出力」のチェックを外します

※「出力フォルダ」にはネットワークドライブも指定できますが、ネットワーク不調が原因でエラーとなる可能性が考えられるため、ローカルドライブを推奨します

■文字コード変換設定を利用する場合

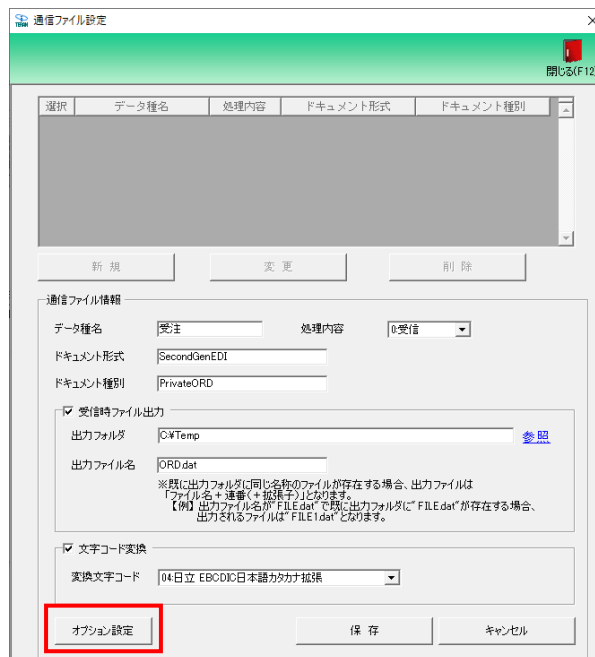
- i. 「文字コード変換」にチェック
- ii. 「変換文字コード」に文字コード変換を行う文字コードを選択

※文字コード変換を利用しない場合は「文字コード変換」はチェックしないでください

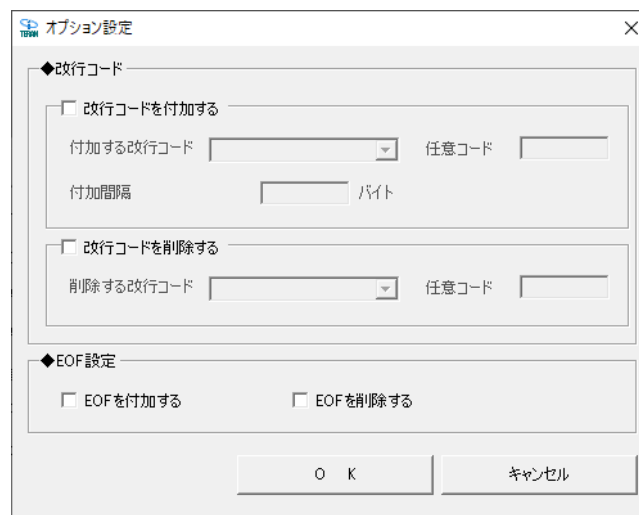
※文字コード変換は受信時には指定した文字コードから Shift-JIS へと変換したファイルを出力し
 送信時は Shift-JIS のファイルを指定文字コードにて変換したファイルを送信します

※文字コードの詳細は「付録 2. 変換文字コード表」に記載

- ⑤ 受信／送信ファイルに改行コードを付加／削除したい、またはE O Fコードを付加／削除したい場合は「オプション設定」ボタンをクリックします
※オプション設定が不要の場合は⑦へお進みください



- ⑥ 表示されたオプション設定画面にてオプション設定を行います

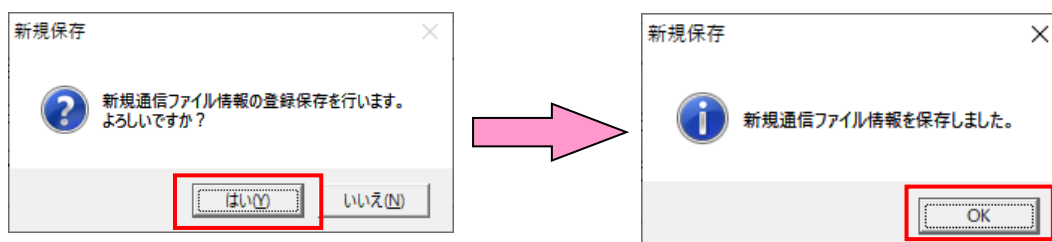


■改行コード付加／削除設定、及び EOF 付加／削除設定について

- ・改行コード付加／削除設定を利用する場合は改行コードを付加する／削除するチェックボックスにチェックした上で付加／削除する改行コードを選択します
(付加する場合は[付加間隔]も設定します)
 - ・E O F付加／削除設定を利用する場合は、E O Fを付加／削除するチェックボックスをチェックします
- ※オプション設定の詳細は「10－6．通信ファイル設定画面」を参照してください

- ⑦ 必要情報入力／選択後、「保存」ボタンをクリックします

- ⑧ 保存確認メッセージで「はい」をクリックし、
保存完了メッセージで「OK」をクリックします



通信ファイル情報（受送信するデータ種）が複数ある場合は
②～⑧を繰り返し実施してください

※受送信する通信ファイルの情報は全て必ず登録してください
登録漏れがあった場合、受信時にエラーとなりますので
ご注意ください

- ⑨ 全ての通信ファイル情報を登録が完了後、「閉じる」ボタンをクリックします

選択	データ種名	処理内容	ドキュメント形式	ドキュメント種別
☐	受注	0:受信	SecondGenEDI	PrivateORD
☐	入荷予定	1:送信	SecondGenEDI	PrivateSHI
☐	仕入実績	0:受信	SecondGenEDI	PrivateREC

- ⑩ 各種設定メニューで「閉じる」ボタンをクリックします

初期設定は以上です

次頁からは日常業務の画面操作方法となりますのでご確認ください

導入テストにつきましては、各接続先へご確認ください

7. データ受信

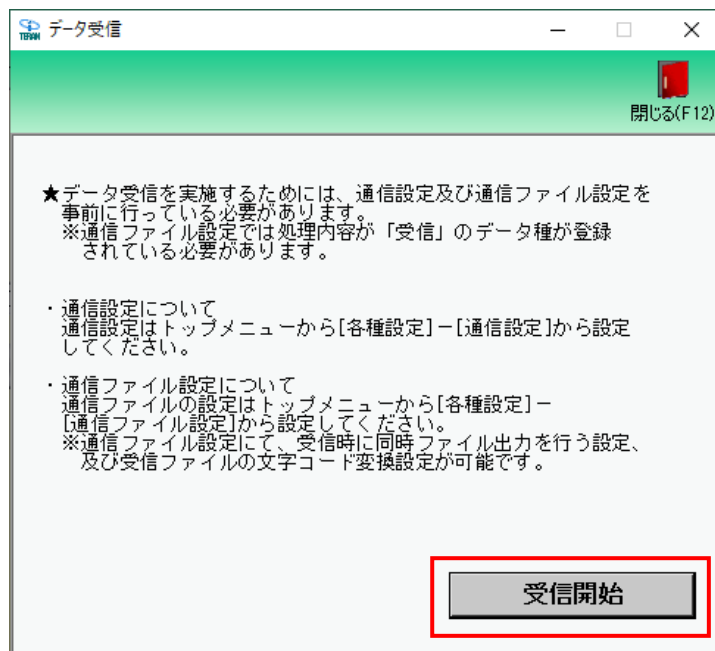
接続先に用意されているデータファイルを受信します

初期設定にて接続情報・通信ファイル情報を設定しないとファイルの受信が行えません

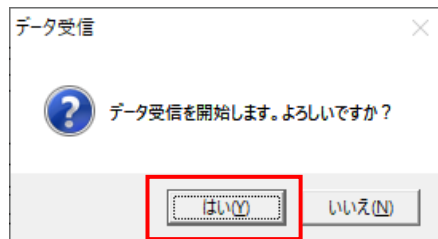
- ① 「データ受信」ボタンをクリックします



- ② 「受信開始」ボタンをクリックします



- ③ 受信開始メッセージで「はい」をクリックします



- ④ 受信結果画面が表示されます

結果を確認し、「閉じる」ボタンをクリックします

データ受信結果

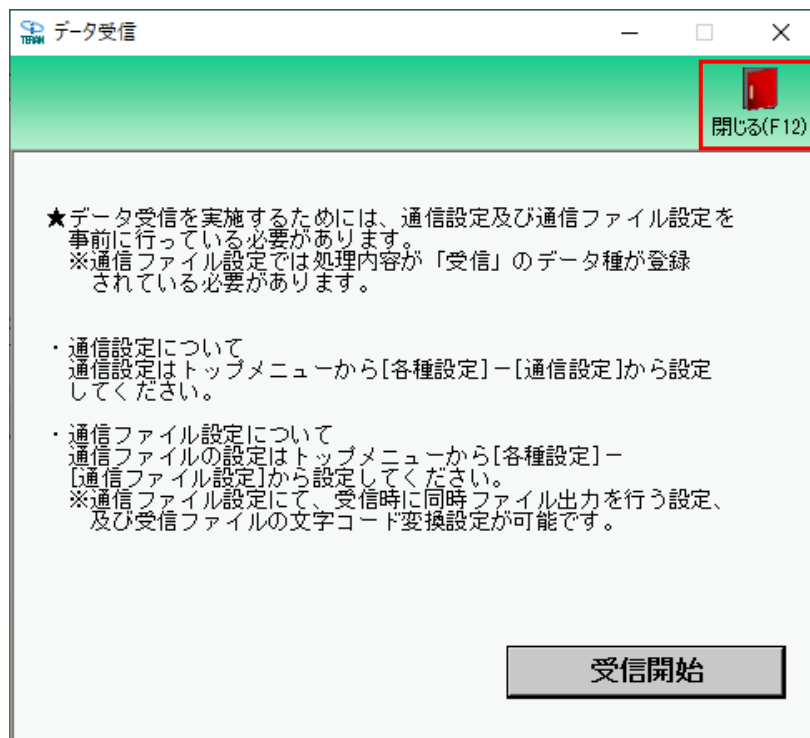
データ種	通信バイト数	格納伝票件数	格納明細件数	エラー明細件数	結果	詳細
▶ テスト 1	30 Byte	0	0	0	正常	正常
テスト 2	30 Byte	0	0	0	正常	正常
テスト 3	30 Byte	0	0	0	正常	正常

閉じる(F12)

上記以外のエラーメッセージや受信結果画面にエラーが表示された場合は、
「付録 3－1．受信エラーに関するご質問」をご参照ください

※「付録 3－1．受信エラーに関するご質問」にも記載のないエラーが表示された
場合は弊社サポートデスク（TERAN-CSD）までご連絡ください

⑤ 「閉じる」ボタンをクリックし画面を閉じます



データ受信の操作は以上となります

受信したデータを個別に出力する場合は「8. データファイル出力」
を参照して実施してください

受信したデータを基に送信するデータを基幹システムにて作成し
接続先へ送信する場合は「9. データ送信」を参照し実施してください

※画面の詳細につきましては、「10－1. データ受信画面」にてご確認
ください（注意事項などが記載されています）

8. データファイル出力

受信したデータファイルを外部データファイルとして出力します

- ① 「ファイル出力」 ボタンをクリックします



- ② 「データ種」、「受信日時」を選択し、「出力ファイルパス」を選択または入力します
その後、「出力処理開始」ボタンをクリックします
※「データ種」選択後に対象データ種の受信データがある場合は「受信日時」が選択できます
受信データがない場合は「受信日時」が選択できません

データファイル出力

閉じる(F12)

出力条件

データ種

受信日時

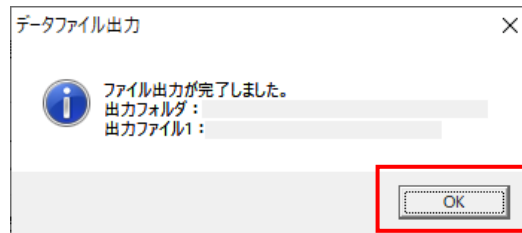
出力ファイルパス [参照](#)

※1回の受信で複数ファイルを受信した場合、出力ファイルは「ファイル名 + 連番(+拡張子)」となります。
【例】1回の受信で同じデータ種のファイルを3ファイル受信していた場合、出力ファイルパスにファイル名“FILE.dat”を指定した場合、“FILE1.dat”、“FILE2.dat”、“FILE3.dat”という形で出力されます。

出力処理開始

※「出力ファイルパス」の出力場所にはネットワークドライブも指定できますが、ネットワーク不調が原因でエラーとなる可能性が考えられるため、ローカルドライブを推奨します

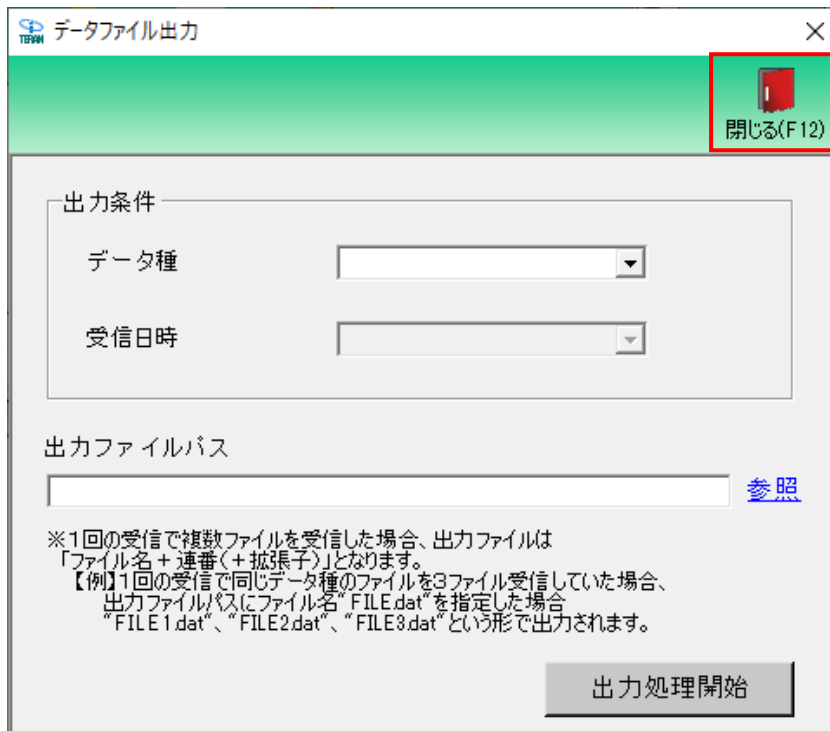
- ③ 出力完了メッセージが表示されます
「OK」ボタンをクリックします



上記以外のエラーメッセージが表示された場合は、
「付録 3 - 2. データファイル出力画面エラーに関するご質問」をご参照ください

※「付録 3 - 2. データファイル出力画面エラーに関するご質問」にも記載のない
エラーが表示された場合は弊社サポートデスク（TERAN-CSD）まで
ご連絡ください

- ④ 「閉じる」ボタンをクリックし画面を閉じます



データファイル出力の操作は以上となります

出力したデータを基に送信するデータを基幹システムにて作成し

接続先へ送信する場合は「9. データ送信」を参照し実施してください

※画面の詳細につきましては、「10 - 2. データファイル出力画面」にて
ご確認ください（注意事項などが記載されています）

9. データ送信

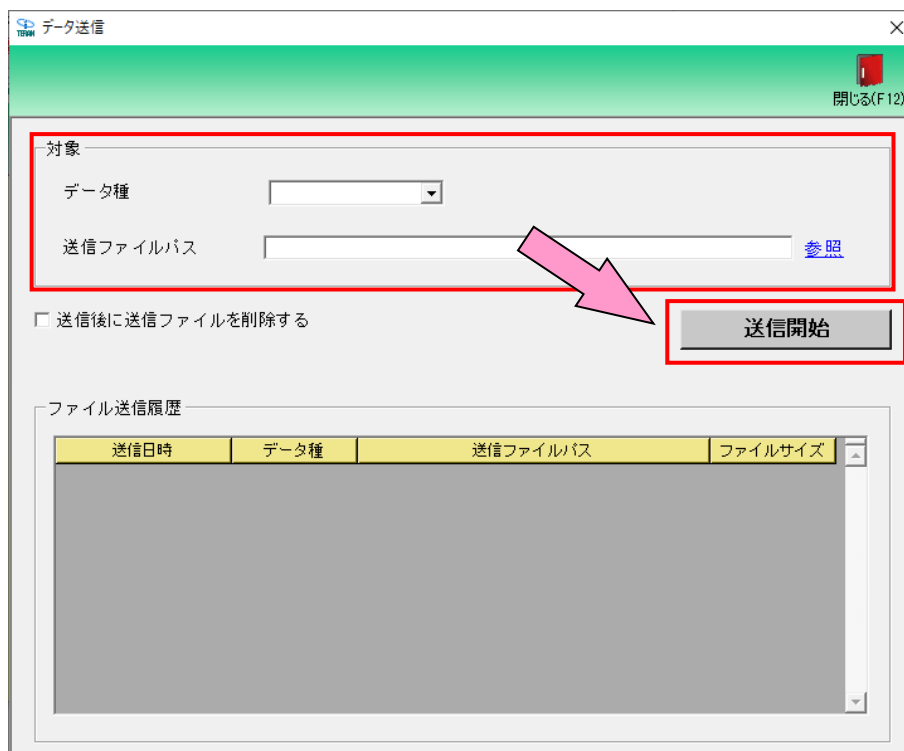
接続先へ指定したデータファイルを送信します

初期設定にて接続情報・通信ファイル情報を設定しないとファイルの送信が行えません

- ① 「データ送信」ボタンをクリックします



- ② 「データ種」を選択し、「送信ファイルパス」を選択または入力します
その後、「送信開始」ボタンをクリックします

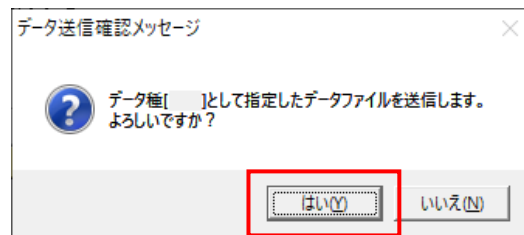


※「送信ファイルパス」の出力場所にはネットワークドライブも指定できますが、ネットワーク不調が原因でエラーとなる可能性が考えられるため、ローカルドライブを推奨します

③ 送信確認メッセージが表示されます

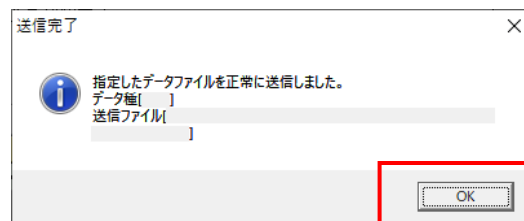
「はい」 ボタンをクリックします

※対象データ種にお間違えがないかを必ずご確認ください



④ 送信完了メッセージが表示されます

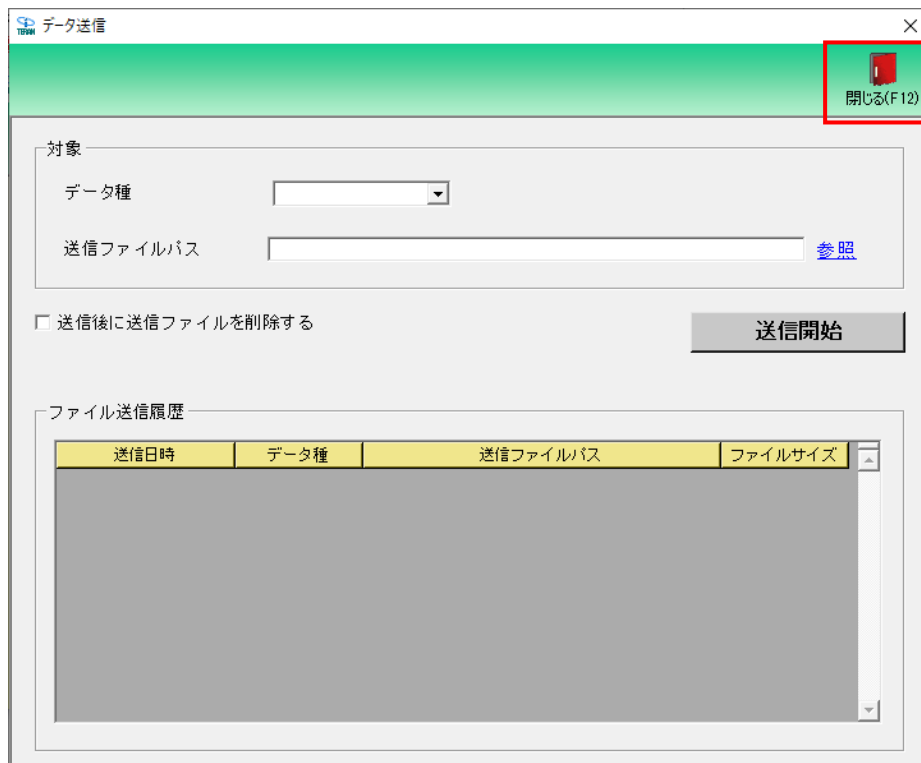
「OK」 ボタンをクリックします



上記以外のエラーメッセージが表示された場合は、
「付録 3－3. データ送信エラーに関するご質問」をご参照ください

※「付録 3－3. データ送信エラーに関するご質問」にも記載のないエラーが表示された場合は弊社サポートデスク（TERAN－CSD）までご連絡ください

- ⑤ 「閉じる」ボタンをクリックし画面を閉じます



データ送信の操作は以上となります

※画面の詳細につきましては、「10－3．データ送信画面」にてご確認ください（注意事項などが記載されています）

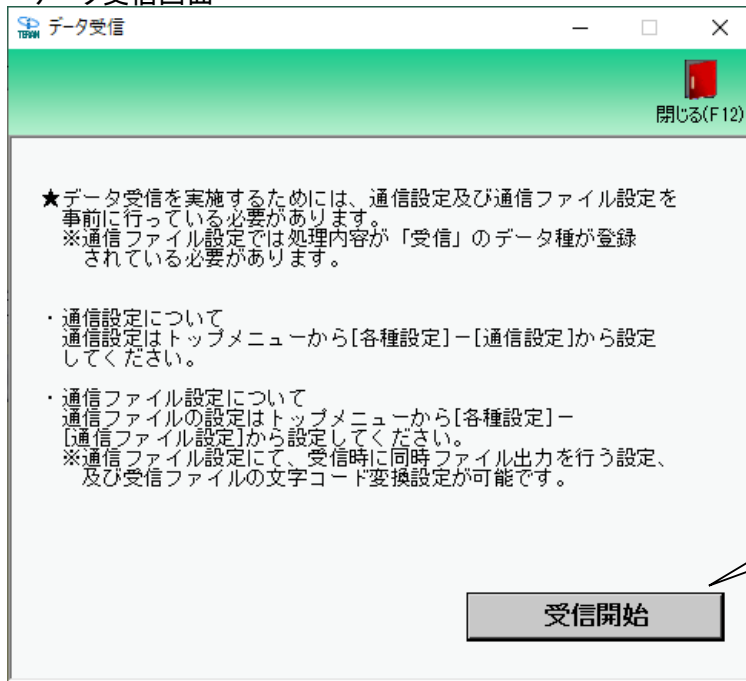
10. 画面操作詳細

10-1. データ受信画面

オンラインデータファイルの受信を行う

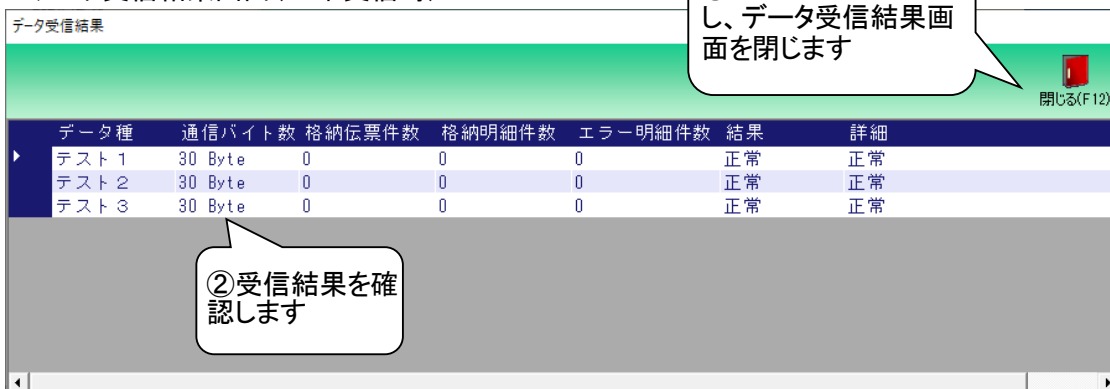
◆データ受信画面表示方法 [TOP]画面⇒[データ受信]

・データ受信画面



①『受信開始』ボタンを押します

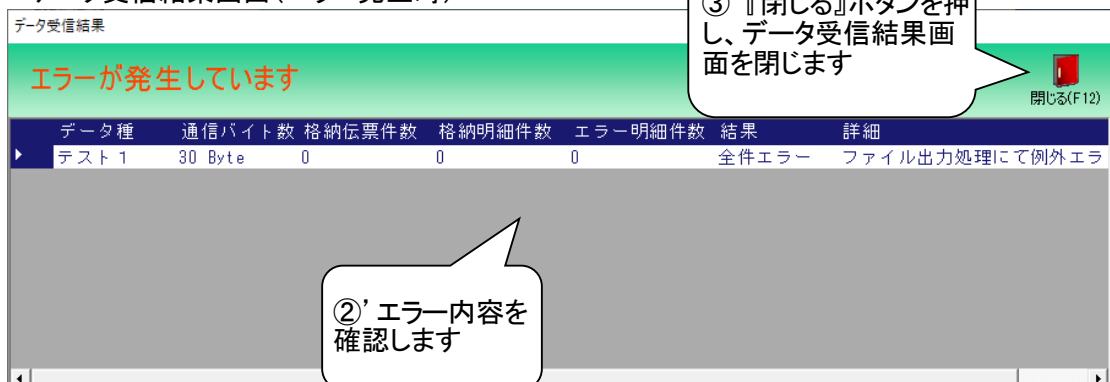
・データ受信結果画面（正常受信時）



③『閉じる』ボタンを押し、データ受信結果画面を閉じます

②受信結果を確認します

・データ受信結果画面（エラー発生時）



③'『閉じる』ボタンを押し、データ受信結果画面を閉じます

②' エラー内容を確認します

【操作詳細】

- ①『受信開始』ボタンを押すことで受信が開始されます
- ②/②' [データ受信結果]画面にて、受信結果を確認します
- ③/③' 『閉じる』ボタンを押して、[データ受信結果]画面を閉じます



★ワンポイントアドバイス①★

受信を行うためには、「通信設定」(接続先への通信情報設定)、「通信ファイル設定」(受信する各データ種の通信ファイル情報)の登録が必須です

※未設定の場合、エラーとなり受信できません

★ワンポイントアドバイス②★

『受信開始』ボタンによって、接続先に用意されているデータファイル全ての受信を行います

※データ種毎の受信を行うことはできません

★ワンポイントアドバイス③★

受信と同時にファイル出力を行いたい場合、及び受信ファイルを文字コード変換し出力したい場合は「通信ファイル設定」にて設定できます

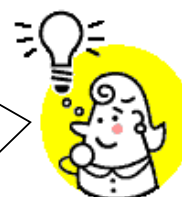
※設定は各データ種ごとになります

★注意①★

受信したファイルのデータ種が「未定義」で表示される場合は、通信ファイル設定の「ドキュメント形式」または「ドキュメント種別」に間違いがある可能性があります
入力間違いや余分な半角スペースが入っていないかなどをご確認ください

★注意②★

受信と同時にファイル出力する設定の場合、ファイル出力先に同名のファイルが複数ある場合、エラーの原因となりますのでご注意ください
出力したファイルはiTERAN/AEでは削除しませんので、ご自身で管理する必要があります
※ファイル出力先に同名(＋連番)のファイルが10000ファイルある場合はエラーとなります



※本画面の詳細に関しては、別紙「業務マニュアル【画面・詳細編】」をご参照ください

10-2. データファイル出力画面

受信したデータファイルを出力します

◆データファイル出力画面表示方法 [TOP]画面 ⇒ [ファイル出力]

The screenshot shows a dialog box titled 'データファイル出力' (Data File Output) with a close button (X) in the top right corner. The dialog is divided into several sections:

- 出力条件 (Output Conditions):** Contains two dropdown menus: 'データ種' (Data Type) and '受信日時' (Reception Date/Time).
- 出力ファイルパス (Output File Path):** A text input field.
- 出力処理開始 (Output Processing Start):** A button at the bottom right.

Four numbered callouts point to specific elements:

- ① 出力するファイルのデータ種を選択します (Select the data type of the file to be output).
- ② 出力するファイルの受信日時を選択します (Select the reception date/time of the file to be output).
- ③ 出力ファイルパスを入力します (Enter the output file path).
- ④ 『出力処理開始』ボタンを押します (Press the 'Output Processing Start' button).

Below the '出力ファイルパス' field, there is a note: ※1回の受信で複数ファイルを受信した場合、出力ファイルは「ファイル名+連番+拡張子」となります。【例】1回の受信で同じデータ種のファイルを3ファイル受信していた場合、出力ファイルパスにファイル名「FILE.dat」を指定した場合「FILE1.dat」、「FILE2.dat」、「FILE3.dat」という形で出力されます。

【操作詳細】

- ①. 出力するファイルの『データ種』を選択します
- ②. 出力するファイルの『受信日時』を選択します
- ③. 出力ファイルパスを入力、もしくは『参照』ボタンから選択します
- ④. 『データ種』、『受信日時』、『出力ファイルパス』の指定が終わったら、『出力処理開始』ボタンを押すことでファイル出力が開始されます



★ワンポイントアドバイス①★

『データ種』コンボボックスには、通信ファイル設定で登録した処理内容が「受信」のデータ種がリスト表示されます

※処理内容「送信」のデータ種は表示されません

★ワンポイントアドバイス②★

『データ種』コンボボックスにてデータ種を選択後に『受信日時』コンボボックスが選択できるようになります

『データ種』を選択しても『受信日時』コンボボックスが選択できない場合は受信データが存在しない状態です

★注意①★

1回の受信で同データ種を複数ファイル受信している場合は指定した『データ種』
『受信日時』のファイルを全て出力します

出力ファイルは指定した場所に指定ファイル名+[1から始まる連番]+[拡張子]で出力
されます

例) 出力ファイルパスに[C:¥Temp¥DATA.dat]を指定し受信ファイルが3ファイルの場合

出力場所: C:¥Temp

出力ファイル: DATA1.dat、DATA2.dat、DATA3.dat

★注意②★

出力場所にはネットワークドライブも指定できますが、ネットワーク不調などが原因で
エラーになる可能性もありますので、ローカルドライブの指定を推奨します



※.本画面の詳細に関しては、別紙「業務マニュアル【画面・詳細編】」をご参照ください

10-3. データ送信画面

データファイルの送信を行います

◆データ送信画面表示方法 [TOP]画面 ⇒ [データ送信]

The screenshot shows the 'データ送信' (Data Transmission) window. It includes a title bar, a close button, and a main content area. The content area has a header '対象' (Target) with two fields: 'データ種' (Data Type) and '送信ファイルパス' (Transmission File Path). Below these is a checkbox '送信後に送信ファイルを削除する' (Delete transmission files after transmission). To the right is a '送信開始' (Start Transmission) button. At the bottom is a table titled 'ファイル送信履歴' (File Transmission History) with columns: '送信日時' (Transmission Date/Time), 'データ種' (Data Type), '送信ファイルパス' (Transmission File Path), and 'ファイル' (File). Three callout boxes provide instructions: ① points to the 'データ種' dropdown; ② points to the '送信ファイルパス' field and a '参照' (Reference) button; ③ points to the '送信開始' button.

【操作詳細】

- ①.送信するファイルの『データ種』を選択します
- ②.『送信ファイルパス』を入力、もしくは『参照』ボタンから選択します
- ③.『データ種』、『送信ファイルパス』の指定が終わったら、『送信開始』ボタンを押すことで送信が開始されます



★ワンポイントアドバイス①★

送信を行うためには、「通信設定」(接続先への通信情報設定)、「通信ファイル設定」(送信する各データ種の通信ファイル情報)の登録が必須です

※未設定の場合、エラーとなり送信できません

★ワンポイントアドバイス②★

『データ種』コンボボックスには、通信ファイル設定で登録した処理内容が「送信」のデータ種がリスト表示されます

※処理内容「受信」のデータ種は表示されません

★ワンポイントアドバイス③★

『送信後に送信ファイルを削除する』チェックボックスにチェックを入れ送信を実施すると、『送信ファイルパス』に指定したファイルが正常送信後に削除されます

※送信エラーがあった場合は削除されません

★ワンポイントアドバイス④★

送信実施後に『ファイル送信履歴』に送信したファイルの履歴情報が表示されます

送信履歴の保有期間は1ヵ月となり、1ヵ月を超えた履歴は自動的に削除されます

※当画面のファイル送信履歴の保有期間は変更できませんのでご注意ください

★注意①★

送信するデータ種の通信ファイル設定にて「ドキュメント形式」または「ドキュメント種別」に間違いがある場合、通信エラーになります

入力間違いや余分な半角スペースが入っていないかなどをご確認ください

★注意②★

『送信ファイルパス』に指定したファイルが他のアプリケーションにて利用中である場合送信時にエラーとなりますのでご注意ください



※本画面の詳細に関しては、別紙「業務マニュアル【画面・詳細編】」をご参照ください

10-4. 利用会社マスタメンテナンス画面

利用会社マスタの新規作成・変更・削除を行います

◆利用会社マスタメンテナンス画面表示方法 [TOP]画面 ⇒ [利用会社の登録]

利用会社マスタメンテ

④『保存』ボタンを押します

取消(F9) 新規(F2) 変更(F3) 削除(F8) 保存(F4)

②『新規』『変更』『削除』ボタンを押します

利用会社コード

①利用会社コードを入力・選択します

利用会社名(漢字)

利用会社名(カナ)

③利用会社名(漢字)等を入力/訂正します
※②で『削除』ボタンを押した時は何もせずに④へ

作成日 更新日

【操作詳細】

- ①.新規作成する場合、『利用会社コード』コンボボックスに該当の利用会社コードを入力します
変更、削除する場合、『利用会社コード』コンボボックスに対象とする利用会社コードを入力/選択します
- ②.①で入力/選択した利用会社コードのデータを新規作成する場合は『新規』ボタンを、
変更する場合は『変更』を、削除する場合は『削除』ボタンを押下します
- ③.『利用会社名(漢字)』等の各項目を入力/訂正します
※②で『削除』ボタンを押した時は何もせずに④へ進みます
- ④.『保存』ボタンを押下し、「新規」「変更」「削除」を確定します



★ワンポイントアドバイス①★

新規作成する場合の『利用会社コード』には任意の13桁の数値を入力してください
※受送信等に利用はしていないため、数値13桁以内であれば問題ありません
接続先が複数になる場合はお客様自身がわかりやすいよう“00001”などの値で登録頂ければ問題ありません

★ワンポイントアドバイス②★

当画面で設定した利用会社コードは[TOP]画面の利用会社として使用します
※1接続先=1利用会社となります
接続先が増えた場合は新たに利用会社登録を行ってください

※本画面の詳細に関しては、別紙「業務マニュアル【画面・詳細編】」をご参照ください

10-5. 通信設定画面

オンライン受送信に利用する通信情報の設定を行います

◆通信設定画面表示方法 [TOP]画面 ⇒ [各種設定] ⇒ [通信設定]

The screenshot shows the 'ACMSliteNeo 通信設定画面' (ACMSliteNeo Communication Settings Screen). It is divided into three main sections, each highlighted with a red border and an annotation:

- 通信基本情報 (Communication Basic Information):** Contains fields for '接続先 URL' (Destination URL), '相手先 URI' (Counterparty URI), '相手先識別子' (Counterparty ID), '当方 URI' (Own URI), and '当方識別子' (Own ID). An annotation points to this section: '①『通信基本情報』を入力します' (Enter 'Communication Basic Information').
- 認証情報 (Authentication Information):** Contains two sub-sections:
 - ベーシック認証 (Basic Authentication):** Includes a checkbox 'ベーシック認証を利用する' (Use Basic Authentication), which is checked. It has fields for 'ベーシック認証ID' (Basic Authentication ID) and 'ベーシック認証パスワード' (Basic Authentication Password). An annotation points to these fields: '②認証情報を入力します' (Enter authentication information).
 - クライアント認証 (Client Authentication):** Includes a checkbox 'クライアント認証を利用する' (Use Client Authentication), which is unchecked. It has fields for 'クライアント証明書パス' (Client Certificate Path) and 'クライアント証明書パスワード' (Client Certificate Password). A '参照' (Reference) button is next to the path field.
- プロキシサーバ (Proxy Server):** Includes radio buttons for 'IEと同じ設定を利用' (Use same settings as IE) and '個別に設定' (Set individually). There is also a checkbox 'プロキシサーバを利用する' (Use Proxy Server), which is unchecked. If checked, there are fields for 'プロキシサーバ' (Proxy Server), 'プロキシユーザ' (Proxy User), and 'プロキシパスワード' (Proxy Password). An annotation points to these fields: '※プロキシ情報は必要がある場合のみ入力' (※Enter proxy information only when necessary).

At the top left, there are buttons for '保存(F4)' (Save) and 'キャンセル' (Cancel). At the top right, there is a button for '閉じる(F12)' (Close).

【操作詳細】

①『通信基本情報』を入力します

具体的な入力情報は別紙「JX手順 TF6G接続限定用向けかんたんセットアップガイド」をご参照ください

②『認証情報』を入力します

■ベーシック認証を利用する場合

②-1.『ベーシック認証を利用する』にチェックします

②-2.『ベーシック認証ID』『ベーシック認証パスワード』を入力します

■クライアント認証を利用する場合

②-1.『クライアント認証を利用する』にチェックします

②-2.『クライアント証明書パス』『クライアント証明書パスワード』を入力／選択します

具体的な入力情報は別紙「JX手順 TF6G接続限定用向けかんたんセットアップガイド」をご参照ください

※:プロキシサーバを使用している場合、『プロキシサーバ』の情報も入力します

具体的な入力情報は 貴社のネットワーク担当者にご確認ください

③『保存』ボタンを押し、設定内容を保存します



★ワンポイントアドバイス①★

『通信基本情報』は接続先から取得した接続情報記載文書の情報を入力します

★ワンポイントアドバイス②★

『ベーシック認証』については接続先から取得した接続情報記載文書に情報がある場合は記載の通り入力します

情報がない場合は、接続先の問合せ先にご連絡し確認してください

★ワンポイントアドバイス③★

『クライアント認証』については接続先から取得した「クライアント証明書」と「クライアント認証パスワード」を入力します

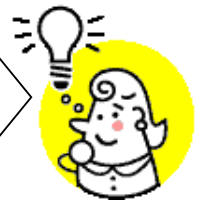
クライアント証明書がない、クライアント認証パスワードがわからない場合は、接続先の問合せ先にご連絡し確認してください

★注意①★

設定に誤りがあった場合は、受送信時にエラーとなります
入力間違いや余分な半角スペースが入っていないかなどをご確認ください

★注意②★

本画面で設定した通信情報と「通信ファイル設定画面」で設定した通信ファイル情報を併せて通信を行います
双方を必ず設定しておく必要があります



※本画面の詳細に関しては、別紙「業務マニュアル【画面・詳細編】」をご参照ください

10-6. 通信ファイル設定画面

オンライン受送信に利用する通信ファイル情報の設定を行います

◆通信ファイル設定画面表示方法 [TOP]画面 ⇒ [各種設定] ⇒ [通信ファイル設定]

・新しいデータ種の通信ファイル情報を新規作成する場合

①『新規』ボタンを押します

②通信ファイルの基本情報を入力します

③【処理内容が「0:受信」】の場合のみ
受信と同時に指定場所にファイルを出力する場合、ファイル出力情報を設定します

④受送信時に受信ファイルを文字コード変換したい場合は変換文字コードを選択します

⑤『保存』ボタンを押します

・登録したデータ種の通信ファイル情報を変更する場合

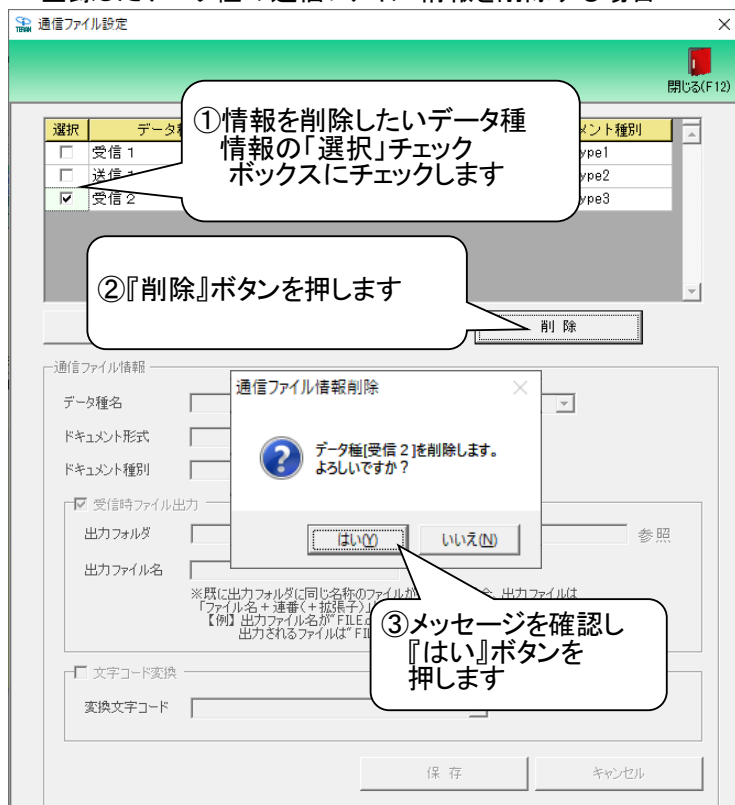
①情報を更新したいデータ種の情報の「選択」チェックボックスにチェックします

②『変更』ボタンを押します

③表示された通信ファイル情報の変更したい情報を更新します

④『保存』ボタンを押します

・登録したデータ種の通信ファイル情報を削除する場合



【操作詳細】新規作成

- ①『新規』ボタンを押します
- ②『データ種名』『処理内容』『ドキュメント形式』『ドキュメント種別』を入力／選択します
- ③【**処理内容が“0:受信”の場合のみ**】
 - ③-1『出力フォルダ』にファイル出力するフォルダのパスを入力／選択します
 - ③-2『出力ファイル名』にファイル出力するファイル名を入力します
 - ※『出力ファイル名』には拡張子が必要な場合は拡張子も入力します
 - ※ファイル出力をしない場合は『受信時ファイル出力』のチェックを外します
- ④【**受送信時に文字コード変換を実施する場合**】
 - ④-1『文字コード変換』チェックボックスにチェックします
 - ④-2『変換文字コード』から変換する文字コードを選択します
- ⑤『保存』ボタンを押し、登録内容を保存します

【操作詳細】変更

- ①一覧から変更したい通信ファイル情報を選択します
- ②『変更』ボタンを押します
- ③表示された変更対象の通信ファイル情報が表示されるので変更したい箇所を更新します
- ④『保存』ボタンを押し、変更内容を保存します

【操作詳細】削除

- ①一覧から削除したい通信ファイル情報を選択します
- ②『削除』ボタンを押します
- ③表示されたメッセージのデータ種名を確認し『はい』を押します



★ワンポイントアドバイス①★

『通信ファイル情報』は接続先から取得した接続情報記載文書の情報を入力します
情報がない場合は、接続先の問合せ先にご連絡し確認してください

★ワンポイントアドバイス②★

『データ種名』は接続先指定のデータ種名と一致させる必要はありません。
また、『データ種名』は1つの接続先(利用会社)内では同じ名称にすることはできません

★ワンポイントアドバイス③★

『処理内容』は貴社側から見た受送信区分を設定してください。
※接続先側から見て「受信」である場合は貴社側から見ると「送信」となります
接続先によってどちら側から見た区分かを確認する必要があります

★ワンポイントアドバイス④★

文字コード変換は受送信時に変換した文字コードで受信／送信ファイルを変換し
ファイル出力／接続先への送信を行う機能です
接続先指定の文字コードをご利用ください
※変換文字コードに指定できる文字コードと変換表は『付録1』に記載しています
文字コード変換をご利用の場合はご確認ください

★注意①★

通信ファイル情報設定に誤りがあった場合は、受送信時にエラーとなります
入力間違いや余分な半角スペースが入っていないかなどをご確認ください

★注意②★

本画面で設定した通信ファイル情報と「通信設定画面」で設定した通信情報を併せて
通信を行います
双方を必ず設定しておく必要があります

★注意③★

ファイル出力フォルダにはネットワークドライブも指定できますが、ネットワーク不調などが原因
で
エラーになる可能性もありますので、ローカルドライブの指定を推奨します

★注意④★

以下の文字はファイル名禁則文字です。『出力ファイル名』で設定しないでください
¥、/、:、>、<、|、*、?、"

★注意⑤★

登録できる通信ファイル情報数は99,999となります
限界を超過した場合は登録時にエラーとなりますので、エラーが表示された際には
サポートまでご連絡ください
※登録できる通信ファイル情報数は新規登録した数になります
削除済の情報も含んだ数となります



■オプション設定について

通信ファイル設定にて受送信ファイルの改行コード付加／削除、EOFの付加／削除が可能なオプション設定を行えます

本項では、設定の内容の説明を記載します

※オプション設定は通信ファイル設定画面の「オプション設定」ボタンで表示されます

▼改行コード付加設定

ファイルを送受信する際に設定したファイル内に「付加間隔」で指定したバイト数の間隔で指定改行コードを付加しファイルを出力します

◎以下の改行コードが選択可能

No	改行コード種類	改行コード
1	CR/LF	0x0D0A
2	LF/CR	0x0A0D
3	CR	0x0D
4	LF	0x0A
9	任意コード	任意指定

※任意コードは16進数での指定

▼改行コード削除設定

ファイルを送受信する際に設定したファイル内に指定改行コードを削除しファイルを出力します

※改行コード種類は上記と同様

▼EOF付加／削除設定

ファイルの終端にEOFコード(0x1A)を付加、または削除しファイルを出力します

※付加設定で既にEOFコードがある場合は重複せず1つのみとなります

※本画面の詳細に関しては、別紙「業務マニュアル【画面・詳細編】」をご参照ください

付録 1. 接続先を新たに追加するには

接続先を追加するには、以下の流れで実施します

1つの接続先＝1利用会社となりますので、トップメニューの「利用会社」単位での管理となります

接続先追加手順 1. 利用会社の登録

本書の「4. 利用会社登録」を参照し、利用会社を登録してください

※登録時の「請求取引先コード」は”00002”以降の 5桁”0”つき連番で登録します



接続先追加手順 2. 接続先情報の設定

本書の「5. 接続情報設定」を参照し、接続先追加手順 1 で追加した利用会社の接続先情報を設定してください



接続先追加手順 3. 通信ファイル情報の設定

本書の「6. 通信ファイル設定」を参照し、接続先追加手順 1 で追加した利用会社の通信ファイル情報を設定してください

上記で接続先の追加（新規接続先の初期設定）が完了します
新規接続先の導入テストにつきましては、各接続先のお問合せ先にご確認ください

付録 2. 変換文字コード表

iTERAN 内で設定できる各文字コード変換の変換表を記載します

■IBM EBCDIC 変換表

上位 下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	00 NUL	10 DLE	80 DS	90	20 SP	26 &	2D -						7B {	7D }	5C ¥	30 0
1	01 SOH	11 DC1	81 SOS	91			2F /		61 a	6A j	7E ~		41 A	4A J		31 1
2	02 STX	12 DC2	82 FS	92 SYN					62 b	6B k	73 s		42 B	4B K	53 S	32 2
3	03 ETX	13 TM	83	93					63 c	6C l	74 t		43 C	4C L	54 T	33 3
4	04 PF	14 RES	84 BYP	94 PN					64 d	6D m	75 u		44 D	4D M	55 U	34 4
5	05 HT	15 NL	85 LF	95 RS					65 e	6E n	76 v		45 E	4E N	56 V	35 5
6	06 LC	16 BS	86 ETB	96 UC					66 f	6F o	77 w		46 F	4F O	57 W	36 6
7	07 DEL	17 IL	87 ESC	97 EOT					67 g	70 p	78 x		47 G	50 P	58 X	37 7
8	08 97	18 CAN	88 88	98 98					68 h	71 q	79 y		48 H	51 Q	59 Y	38 8
9	09 8D	19 EM	89 89	99 99					69 i	72 r	7A z		49 I	52 R	5A Z	39 9
A	0A SMM	1A CC	8A SM	9A 9A		21 !		3A :								
B	0B VT	1B CU1	8B CU2	9B CU3	2E .	24 \$	2C ,	23 #								
C	0C FF	1C IFS	8C DC4	9C 14	3C <	2A *	25 %	40 @								
D	0D CR	1D IGS	8D ENQ	9D NAK	28 (	29)	5F _	27 '								
E	0E SO	1E IRS	8E ACK	9E 9E	2B +	3B ;	3E >	3D =								
F	0F SI	1F IUS	8F BEL	9F SUB	2F 		3F ?	22								

■IBM EBCDIC 日本語カタカナ拡張 変換表

上位 下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	00	10	80	90	20	26	2D	5B	5D	BF	7E	5E	7B	7D	24	30
	NUL	DLE	DS		SP	&	-	[	]	リ	～	^	{	}	\$	0
1	01	11	81	91	A1	AA	2F	69	B1	C0	E0	E6	41	4A	9F	31
	SOH	DC1	SOS		。	I	/	i	ア	イ			A	J		1
2	02	12	82	16	A2	AB	61	6A	B2	C1	CD	E7	42	4B	53	32
	STX	DC2	FS	SYN	「	」	a	j	イ	フ	ハ		B	K	S	2
3	03	13	83	93	A3	AC	62	6B	B3	C2	CE	74	43	4C	54	33
	ETX	TM			」	ヱ	b	k	ウ	ヅ	ホ	t	C	L	T	3
4	9C	9D	84	94	A4	AD	63	6C	B4	C3	CF	75	44	4D	55	34
	PF	RES	BYP	PN	、	1	c	l	I	フ	マ	u	D	M	U	4
5	09	85	0A	95	A5	AE	64	6D	B5	C4	D0	76	45	4E	56	35
	HT	NL	LF	RS	・	ヨ	d	m	オ	ト	ミ	v	E	N	V	5
6	86	08	17	96	A6	AF	65	6E	B6	C5	D1	77	46	4F	57	36
	LC	BS	ETB	UC	ヲ	ヅ	e	n	カ	ナ	ム	w	F	O	W	6
7	7F	87	1B	04	A7	E1	66	6F	B7	C6	D2	78	47	50	58	37
	DEL	IL	ESC	EOT	ア		f	o	キ	ニ	メ	x	G	P	X	7
8	97	18	88	98	A8	B0	67	70	B8	C7	D3	79	48	51	59	38
		CAN			イ	-	g	p	ク	ヲ	エ	y	H	Q	Y	8
9	8D	19	89	99	A9	E2	68	60	B9	C8	D4	7A	49	52	5A	39
		EM			ウ		h		ケ	ネ	ヱ	z	I	R	Z	9
A	8E	92	8A	9A	A0	21	7C	3A	BA	C9	D5	DA	E8	EE	F4	FA
	SMM	CC	SM		!		:	コ	ノ	1	レ					
B	0B	8F	8B	9B	2E	5C	2C	23	71	72	73	DB	E9	EF	F5	FB
	VT	CU1	CU2	CU3	.	¥	,	#	q	r	s	Π				
C	0C	1C	8C	14	3C	2A	25	40	BB	E4	D6	DC	EA	F0	F6	FC
	FF	IFS		DC4	<	*	%	@	サ		ヨ	リ				
D	0D	1D	05	15	28	29	5F	27	BC	CA	D7	DD	EB	F1	F7	FD
	CR	IGS	ENQ	NAK	(	)	_	'	シ	ハ	ラ	ン				
E	0E	1E	06	9E	2B	3B	3E	3D	BD	CB	D8	DE	EC	F2	F8	FE
	SO	IRS	ACK		+	;	>	=	ス	ヒ	リ	°				
F	0F	1F	07	1A	E5	E3	3F	22	BE	CC	D9	DF	ED	F3	F9	FF
	SI	IUS	BEL	SUB			?	"	セ	フ	ル	°				

■日立 EBCDIC 変換表

上位 下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	00	10	80	90	20	26	2D	5B	C3	CA	D1	D8	7B	7D	24	30
	NUL	DLE	DS		SP	&	-	[	̄	ll	ll	リ	{	}	\$	0
1	01	11	81	91	A1	AA	2F	69	61	6A	7E	D9	41	4A	9F	31
	SOH	DC1	SOS		。	I	/	i	a	j	~	ll	A	J		1
2	02	12	82	16	A2	AB	61	6A	62	6B	73	DA	42	4B	53	32
	STX	DC2	FS	SYN	「	†	a	j	b	k	s	レ	B	K	S	2
3	03	13	83	93	A3	AC	62	6B	63	6C	74	DB	43	4C	54	33
	ETX	TM			」	‡	b	k	c	l	t	ll	C	L	T	3
4	9C	9D	84	94	A4	AD	63	6C	64	6D	75	DC	44	4D	55	34
	PF	RES	BYP	PN	、	1	c	l	d	m	u	7	D	M	U	4
5	09	85	0A	95	A5	AE	64	6D	65	6E	76	DD	45	4E	56	35
	HT	NL	LF	RS	・	3	d	m	e	n	v	7	E	N	V	5
6	86	08	17	96	A6	AF	65	6E	66	6F	77	DE	46	4F	57	36
	LC	BS	ETB	UC	7	7	e	n	f	o	w	”	F	O	W	6
7	7F	87	1B	04	A7	E1	66	6F	67	70	78	DF	47	50	58	37
	DEL	IL	ESC	EOT	7		f	o	g	p	x	°	G	P	X	7
8	97	18	88	98	A8	B0	67	70	68	71	79	E0	48	51	59	38
		CAN			イ	-	g	p	h	q	y		H	Q	Y	8
9	8D	19	89	99	A9	E2	68	60	69	72	7A	E1	49	52	5A	39
		EM			ウ		h		i	r	z		I	R	Z	9
A	8E	92	8A	9A	A0	21	7C	3A	C4	CB	D2	E2	E8	EE	F4	FA
	SMM	CC	SM		!		:	ト	レ	メ						
B	0B	8F	8B	9B	2E	5C	2C	23	C5	CC	D3	E3	E9	EF	F5	FB
	VT	CU1	CU2	CU3	・	¥	,	#	†	7	£					
C	0C	1C	8C	14	3C	2A	25	40	C6	CD	D4	E4	EA	F0	F6	FC
	FF	IFS		DC4	<	*	%	@	二	ハ	†					
D	0D	1D	05	15	28	29	5F	27	C7	CE	D5	E5	EB	F1	F7	FD
	CR	IGS	ENQ	NAK	(	)	_	’	7	ホ	1					
E	0E	1E	06	9E	2B	3B	3E	3D	C8	CF	D6	E6	EC	F2	F8	FE
	SO	IRS	ACK		+	;	>	=	ネ	マ	3					
F	0F	1F	07	1A	E5	E3	3F	22	C9	D0	D7	E7	ED	F3	F9	FF
	SI	IUS	BEL	SUB			?	"	ノ	ミ	う					

■日立 EBCDIC 日本語カタカナ拡張 変換表

上位 下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	00	10	80	90	20	26	2D	6A	73	BF	77	79	7B	7D	5C	30
	NUL	DLE	DS		SP	&	-	j	s	リ	w	y	{	}	¥	0
1	01	11	81	91	A1	AA	2F	6B	B1	C0	7E	7A	41	4A	9F	31
	SOH	DC1	SOS		。	I	/	k	ア	タ	～	z	A	J		1
2	02	12	82	16	A2	AB	62	6C	B2	C1	CD	E0	42	4B	53	32
	STX	DC2	FS	SYN	「	ア	b	l	イ	フ	ハ		B	K	S	2
3	03	13	83	93	A3	AC	63	6D	B3	C2	CE	E1	43	4C	54	33
	ETX	TM			」	ヤ	c	m	ウ	ツ	ホ		C	L	T	3
4	9C	9D	84	94	A4	AD	64	6E	B4	C3	CF	E2	44	4D	55	34
	PF	RES	BYP	PN	、	1	d	n	1	テ	マ		D	M	U	4
5	09	85	0A	95	A5	AE	65	6F	B5	C4	D0	E3	45	4E	56	35
	HT	NL	LF	RS	・	ヨ	e	o	オ	ト	ミ		E	N	V	5
6	86	08	17	96	A6	AF	66	70	B6	C5	D1	E4	46	4F	57	36
	LC	BS	ETB	UC	ヲ	ツ	f	p	カ	ナ	ム		F	O	W	6
7	7F	87	1B	04	A7	A0	67	71	B7	C6	D2	E5	47	50	58	37
	DEL	IL	ESC	EOT	ア		g	q	キ	ニ	メ		G	P	X	7
8	97	18	88	98	A8	B0	68	72	B8	C7	D3	E6	48	51	59	38
		CAN			イ	-	h	r	ク	ヌ	ヘ		H	Q	Y	8
9	8D	19	89	99	A9	61	69	60	B9	C8	D4	E7	49	52	5A	39
		EM			ウ	a	i		ケ	ネ	ヤ		I	R	Z	9
A	8E	92	8A	9A	5B	5D	7C	3A	BA	C9	D5	DA	E8	EE	F4	FA
	SMM	CC	SM		[	]		:	コ	ノ	1	レ				
B	0B	8F	8B	9B	2E	24	2C	23	74	75	78	DB	E9	EF	F5	FB
	VT	CU1	CU2	CU3	.	\$	,	#	t	u	x	Π				
C	0C	1C	8C	14	3C	2A	25	40	BB	76	D6	DC	EA	F0	F6	FC
	FF	IFS		DC4	<	*	%	@	サ	v	ヨ	リ				
D	0D	1D	05	15	28	29	5F	27	BC	CA	D7	DD	EB	F1	F7	FD
	CR	IGS	ENQ	NAK	(	)	_	'	シ	ハ	ラ	ン				
E	0E	1E	06	9E	2B	3B	3E	3D	BD	CB	D8	DE	EC	F2	F8	FE
	SO	IRS	ACK		+	;	>	=	入	ヒ	リ	ッ				
F	0F	1F	07	1A	21	5E	3F	22	BE	CC	D9	DF	ED	F3	F9	FF
	SI	IUS	BEL	SUB	!	ハ	?	"	セ	フ	ル	。				

■NEC EBCDIC 変換表

上位 下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	00	10	80	90	20	26	2D						7B	7D	5C	30
	NUL	DLE	DS		SP	&	-						{	}	¥	0
1	01	11	81	91			2F		61	6A	7E		41	4A		31
	SOH	DC1	SOS				/		a	j	~		A	J		1
2	02	12	82	16					62	6B	73		42	4B	53	32
	STX	DC2	FS	SYN					b	k	s		B	K	S	2
3	03	13	83	93					63	6C	74		43	4C	54	33
	ETX	TM							c	l	t		C	L	T	3
4	9C	9D	84	94					64	6D	75		44	4D	55	34
	PF	RES	BYP	PN					d	m	u		D	M	U	4
5	09	85	0A	95					65	6E	76		45	4E	56	35
	HT	NL	LF	RS					e	n	v		E	N	V	5
6	86	08	17	96					66	6F	77		46	4F	57	36
	LC	BS	ETB	UC					f	o	w		F	O	W	6
7	7F	87	1B	04					67	70	78		47	50	58	37
	DEL	IL	ESC	EOT					g	p	x		G	P	X	7
8	97	18	88	98					68	71	79		48	51	59	38
		CAN							h	q	y		H	Q	Y	8
9	8D	19	89	99					69	72	7A		49	52	5A	39
		EM							i	r	z		I	R	Z	9
A	8E	92	8A	9A		21		3A								
	SMM	CC	SM			!		:								
B	0B	8F	8B	9B	2E	24	2C	23								
	VT	CU1	CU2	CU3	.	\$	,	#								
C	0C	1C	8C	14	3C	2A	25	40								
	FF	IFS		DC4	<	*	%	@								
D	0D	1D	05	15	28	29	5F	27								
	CR	IGS	ENQ	NAK	(	)	_	'								
E	0E	1E	06	9E	2B	3B	3E	3D								
	SO	IRS	ACK		+	;	>	=								
F	0F	1F	07	1A	7C		3F	22								
	SI	IUS	BEL	SUB			?									

■NEC EBCDIC 日本語カタカナ拡張 変換表

上位 下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	00	10	80	90	20	26	2D	6B	74	BF	78	7A	7B	7D	24	30
	NUL	DLE	DS		SP	&	-	k	t	リ	x	z	{	}	\$	0
1	01	11	81	91	A1	AA	2F	6C	B1	C0	7E	A0	41	4A	9F	31
	SOH	DC1	SOS		。	I	/	l	ア	タ	～		A	J		1
2	02	12	82	16	A2	AB	63	6D	B2	C1	CD	E0	42	4B	53	32
	STX	DC2	FS	SYN	「	オ	c	m	イ	チ	ハ		B	K	S	2
3	03	13	83	93	A3	AC	64	6E	B3	C2	CE	E1	43	4C	54	33
	ETX	TM			」	ウ	d	n	ウ	ツ	ホ		C	L	T	3
4	9C	9D	84	94	A4	AD	65	6F	B4	C3	CF	E2	44	4D	55	34
	PF	RES	BYP	PN	、	1	e	o	I	テ	マ		D	M	U	4
5	09	85	0A	95	A5	AE	66	70	B5	C4	D0	E3	45	4E	56	35
	HT	NL	LF	RS	・	ヨ	f	p	オ	ト	ミ		E	N	V	5
6	86	08	17	96	A6	AF	67	71	B6	C5	D1	E4	46	4F	57	36
	LC	BS	ETB	UC	ヲ	ツ	g	q	カ	ナ	ム		F	O	W	6
7	7F	87	1B	04	A7	61	68	72	B7	C6	D2	E5	47	50	58	37
	DEL	IL	ESC	EOT	ア	a	h	r	キ	ニ	メ		G	P	X	7
8	97	18	88	98	A8	B0	69	73	B8	C7	D3	E6	48	51	59	38
		CAN			イ	-	i	s	ク	ヌ	ヘ		H	Q	Y	8
9	8D	19	89	99	A9	62	6A	60	B9	C8	D4	E7	49	52	5A	39
		EM			ウ	b	j		ケ	ネ	ヱ		I	R	Z	9
A	8E	92	8A	9A	5B	5D	7C	3A	BA	C9	D5	DA	E8	EE	F4	FA
	SMM	CC	SM		[	]		:	コ	ノ	1	レ				
B	0B	8F	8B	9B	2E	5C	2C	23	75	76	79	DB	E9	EF	F5	FB
	VT	CU1	CU2	CU3	・	¥	,	#	u	v	y	Π				
C	0C	1C	8C	14	3C	2A	25	40	BB	77	D6	DC	EA	F0	F6	FC
	FF	IFS		DC4	<	*	%	@	サ	w	ヨ	リ				
D	0D	1D	05	15	28	29	5F	27	BC	CA	D7	DD	EB	F1	F7	FD
	CR	IGS	ENQ	NAK	(	)	_	'	シ	ハ	ラ	ン				
E	0E	1E	06	9E	2B	3B	3E	3D	BD	CB	D8	DE	EC	F2	F8	FE
	SO	IRS	ACK		+	;	>	=	ス	ヒ	リ	ッ				
F	0F	1F	07	1A	21	5E	3F	22	BE	CC	D9	DF	ED	F3	F9	FF
	SI	IUS	BEL	SUB	!	ハ	?	"	セ	フ	ル	°				

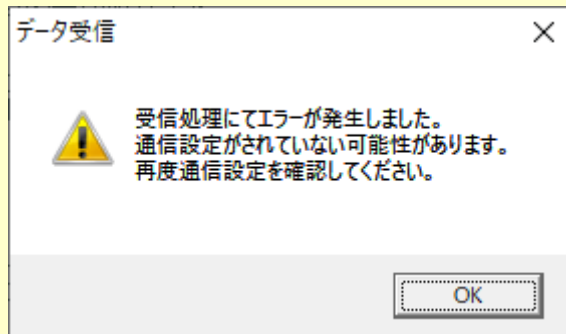
付録3. F A Q

付録3－1. 受信エラーに関するご質問

■受信エラー1



データ受信時に以下のようなメッセージが表示されました。

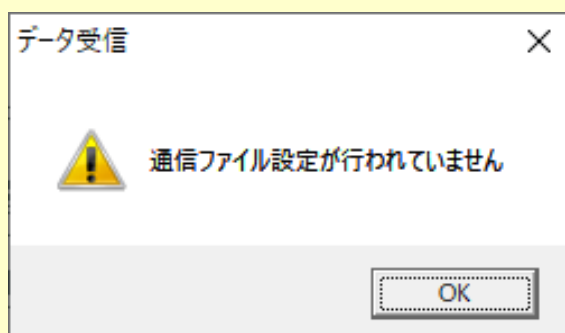


通信設定が行われていません。
本書の「5. 接続情報設定」を参照して頂き、通信設定を行ってください。

■受信エラー2



データ受信時に以下のようなメッセージが表示されました。

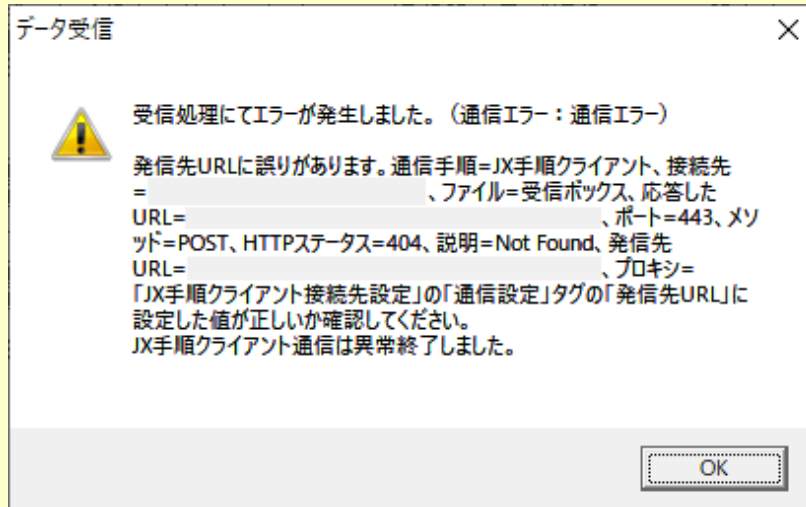


通信ファイル設定が行われていません。
本書の「6. 通信ファイル設定」を参照して頂き、通信ファイル設定を行ってください。

■受信エラー 3



データ受信時に以下のようなメッセージが表示されました。

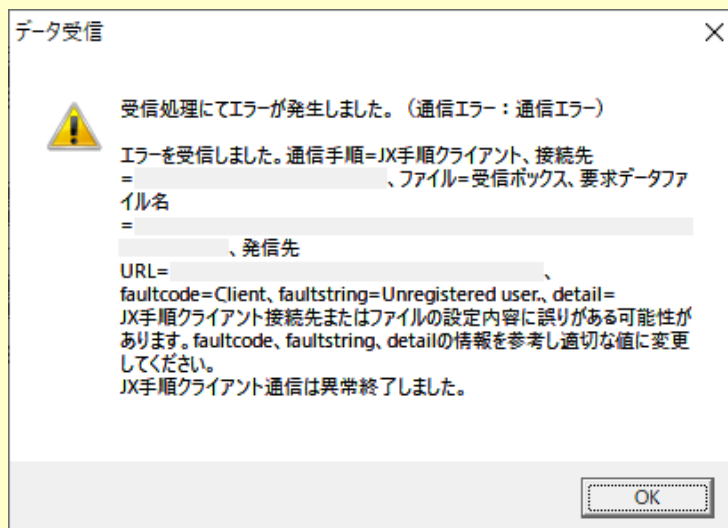


接続先URLに誤りがあります。
接続先URLに入力間違いや余分な半角スペースがないかを通信設定画面にてご確認ください。

■受信エラー 4



データ受信時に以下のようなメッセージが表示されました。



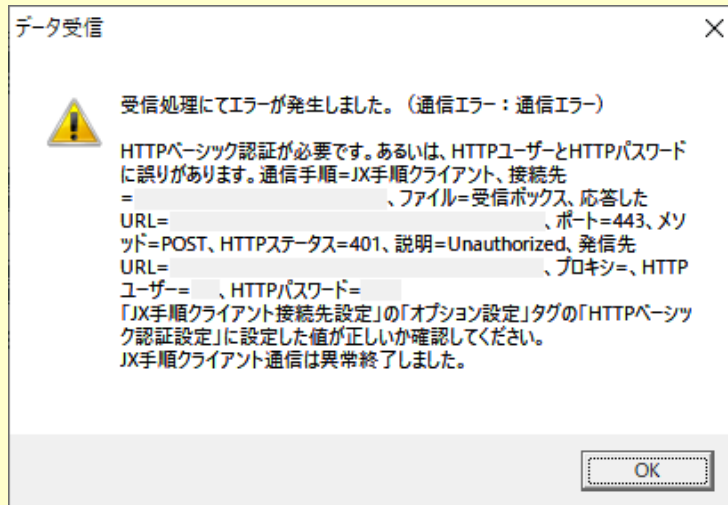
以下の接続先情報に誤りがあります。
「相手先URI」「相手先識別子」「当方URI」「当方識別子」

入力間違いや余分な半角スペースがないかを通信設定画面にてご確認ください。

■受信エラー 5



データ受信時に以下のようなメッセージが表示されました。



以下の接続先情報に誤りがあります。

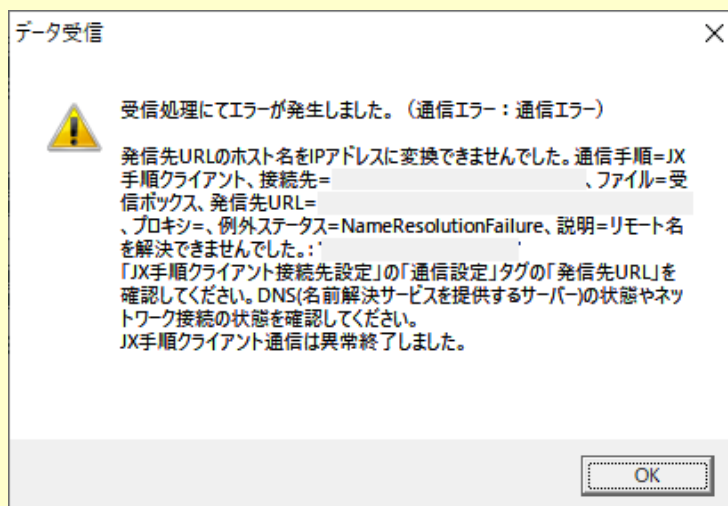
「ベーシック認証ID」「ベーシック認証パスワード」

入力間違いや余分な半角スペースがないかを通信設定画面にてご確認ください。

■受信エラー 6



データ受信時に以下のようなメッセージが表示されました。



インターネットに接続できていない、または一時的にインターネットへのアクセスができない状態にあった可能性があります。

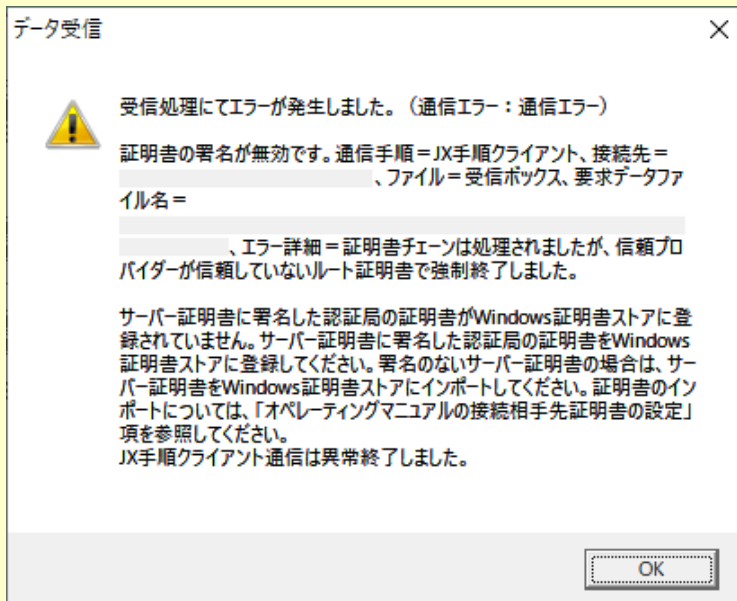
再度受信を実施し、同じメッセージが表示される場合はインターネットへの接続をご確認ください。

※確認後も解決できない場合はサポートまでご連絡ください。

■受信エラー 7



データ受信時に以下のようなメッセージが表示されました。



通信に必要な証明書のインポートされていない可能性があります。
接続先により以下の対処が必要です。

●弊社 Tradefront/6G の接続先の場合

iTERAN/AE インストール時に証明書の登録に失敗している可能性があります。
以下をご確認ください。

[インターネットオプション]→[コンテンツ]→[証明書]→
[信頼されたルート証明機関]及び[中間証明機関]ともに『EINS』から始まる
証明書が一覧に存在しているか確認

〈存在していない場合〉

次頁の「★証明書のインポート方法」を参照しインポートを実施してください。

〈存在していた場合〉

サポート窓口までご連絡ください。

●弊社 Tradefront/6G 以外の接続先の場合

必要な通信証明書を接続先から取得しインポートしてください。

※インポート方法は次頁の「★証明書のインポート方法」を参照。

★証明書のインポート方法

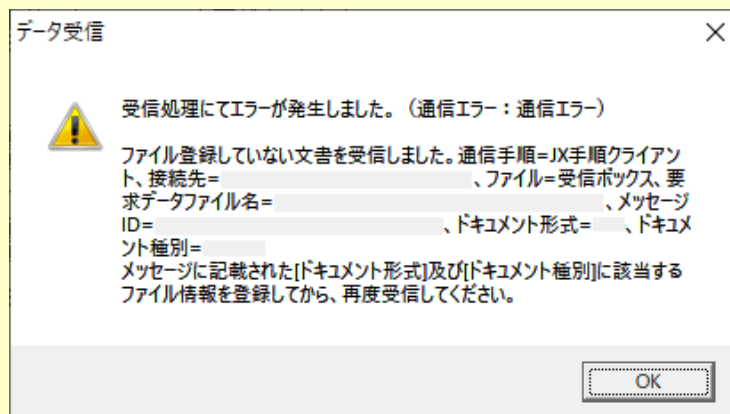
1. iTERAN/AE インストーラフォルダをエクスプローラで開く。
※インストーラがない場合はサポートサイトからダウンロードしてください。
2. 「etc」フォルダ内の「SetCACert.exe」を実行します。
※弊社 Tradefront/6G 以外の接続先の場合は取得した証明書を「etc」フォルダ内に置いてください。

＜「SetCACert.exe」を実行しても登録できない場合＞
サポート窓口までご連絡ください。

■受信エラー 8



データ受信時に以下のようなメッセージが表示されました。



通信ファイル設定にて登録していない通信ファイル（データ種）のデータファイルを受信したことによるエラーです。
本書の「6. 通信ファイル設定」を参照して頂き、登録していない通信ファイル情報が存在しないかを確認し、通信ファイル設定を行ってください。

■受信エラー 9

Q

データ受信後に表示された受信結果画面に以下のようなメッセージが表示されました。

データ受信結果						
エラーが発生しています						
開じる(F12)						
データ種	通信バイト数	格納伝票件数	格納明細件数	エラー明細件数	結果	詳細
▶ テスト 1	33 Byte	0	0	0	全件エラー	受信処理にて例外エラー発生：

A

受信処理中に例外エラーが発生したため正常に受信処理が完了せずにエラーとなりました。

この場合、データは接続先から取得していますが iTERAN 側で保存／ファイル出力が正常に行えていませんので、接続先にデータファイルの再セットを要求し、再セット後に再受信してください。

再受信しても同様のエラーとなる場合は、サポート窓口までご連絡ください。

■受信エラー 10

Q

データ受信後に表示された受信結果画面に以下のようなメッセージが表示されました。

データ受信結果						
エラーが発生しています						
開じる(F12)						
データ種	通信バイト数	格納伝票件数	格納明細件数	エラー明細件数	結果	詳細
▶ テスト 1	30 Byte	0	0	0	全件エラー	ファイル出力処理にて例外エラ

A

受信後のデータファイル出力処理中に例外エラーが発生したため正常に受信処理が完了せずにエラーとなりました。

エラー原因は以下が考えられます。

対処方法は次頁を参照してください。

- ・ ファイルコピーエラー（Windows I/O エラー）の場合
- ・ データファイルの出力先に大量のファイルがある場合
- ・ その他エラー

●ファイルコピーエラー／Windows I0 エラーが原因の場合

一時的なシステムエラーの可能性がありますので、P Cを再起動してください。

接続先にデータファイルの再セットを要求し、再セット後に再受信してください。

再受信してもエラーが改善されない場合は、以下のエラー原因をご確認の上、サポート窓口までご連絡ください。

●データファイルの出力先に大量のファイルがある場合

受信した対象通信ファイル情報（データ種）の受信時ファイル出力設定の「出力フォルダ」に出力ファイル名＋連番（＋拡張子）のファイルが 10,000 ファイル以上存在する可能性があります。

出力フォルダを確認し大量にファイルがある場合は削除するなどデータを整理してください。

※データを整理した後もエラーが改善されない場合はサポート窓口までご連絡ください。

●その他のエラー

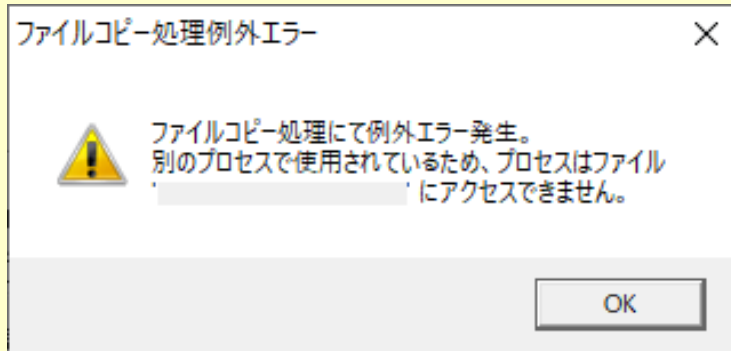
上記2点が原因とは考えられない場合、サポート窓口までご連絡ください。

付録３－２．データファイル出力画面エラーに関するご質問

■データファイル出力エラー 1



データファイル出力画面で出力処理時に以下のようなメッセージが表示されました。



ファイルコピーエラー／Windows I/O エラーが原因の一時的なシステムエラーの可能性がありますので、PCを再起動してください。

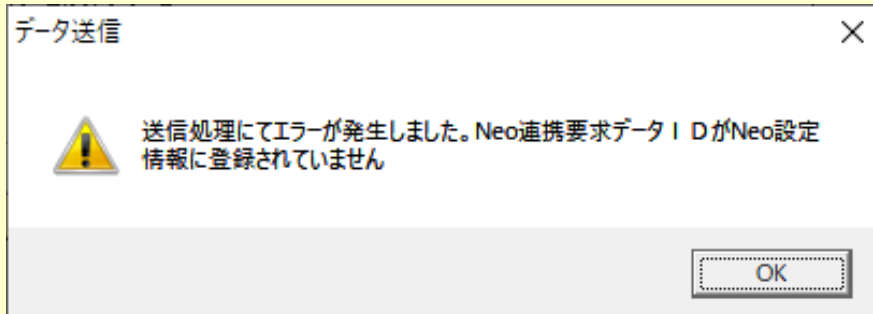
再起動後にデータファイルを出力してもエラーが改善されない場合はサポート窓口までご連絡ください。

付録3－3. データ送信エラーに関するご質問

■データ送信エラー1



データ送信時に以下のようなメッセージが表示されました。

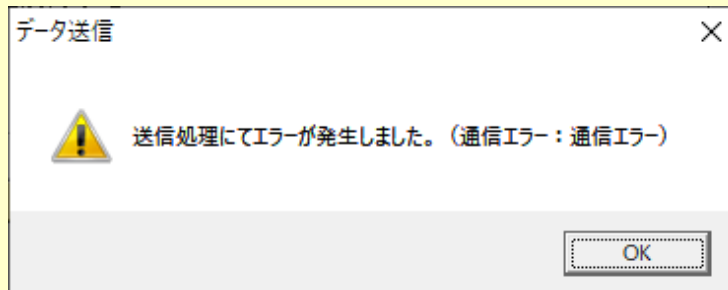


通信設定が行われていません。
本書の「5. 接続情報設定」を参照して頂き、
通信設定を行ってください。

■データ送信エラー2



データ送信時に以下のようなメッセージが表示されました。



データ送信中に通信エラーが発生したため正常に送信処理が
完了せずにエラーとなりました。
エラー原因は以下が考えられます。
対処方法は次頁を参照してください。

- ・ 接続先情報に誤りがある場合
- ・ 通信ファイル情報に誤りがある場合
- ・ インターネット接続に問題がある場合
- ・ 通信証明書がインポートされていない場合
- ・ その他エラー

●接続先情報に誤りがある場合

接続先情報に入力間違いや余分な半角スペースがないかを
通信設定画面にてご確認ください。

●通信ファイル情報に誤りがある場合

送信対象の通信ファイル設定情報に誤りがある可能性があります。

通信ファイル情報に入力間違いや余分な半角スペースがないかを
通信ファイル設定画面にてご確認ください。

●インターネット接続に問題がある場合

インターネットに接続できていない、または一時的にインターネットへのアクセスができない状態にあった可能性があります。
再度データ送信を実施し、同じメッセージが表示される場合は
インターネットへの接続をご確認ください。

※確認後も解決できない場合はサポートまでご連絡ください。

●通信証明書がインポートされていない場合

「付録 2－1. 受信エラーに関するご質問」の「受信エラー 7」の
回答をご確認後に再度データ送信を実施してください。

※対処法は同様のためここでは割愛します。

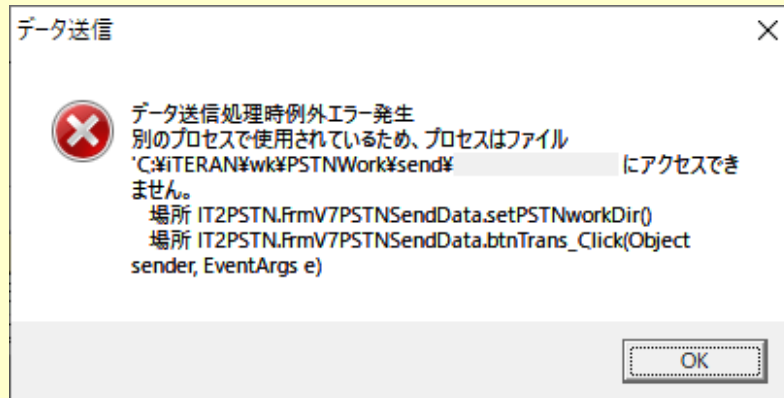
●その他エラー

上記エラーに当てはまらない場合は、サポートまで
ご連絡ください。

■データ送信エラー 3



データ送信時に以下のようなメッセージが表示されました。



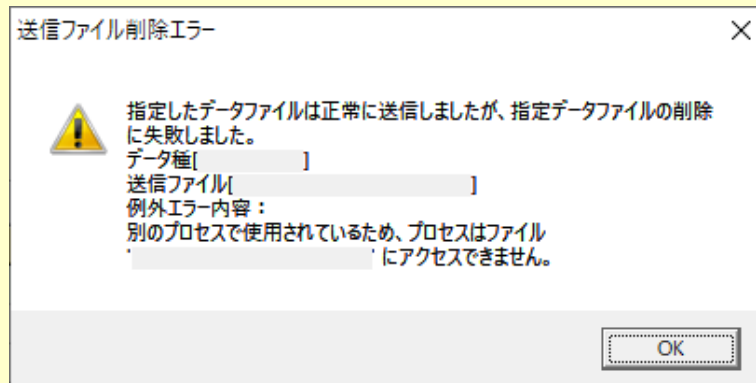
ファイルコピーエラー／Windows I/O エラーが原因の一時的なシステムエラーの可能性がありますので、PCを再起動してください。

再起動後にデータ送信を実施してもエラーが改善されない場合はサポート窓口までご連絡ください。

■データ送信エラー 4



データ送信時に以下のようなメッセージが表示されました。



データ送信は正常に実施できていますが、送信データファイルに指定したファイルの削除に失敗したことによるエラーになります。ファイル削除エラー／Windows I/O エラーが原因の一時的なシステムエラーの可能性がありますので、PCを再起動してください。

再起動後に対象の送信データファイルを手動で削除してください。

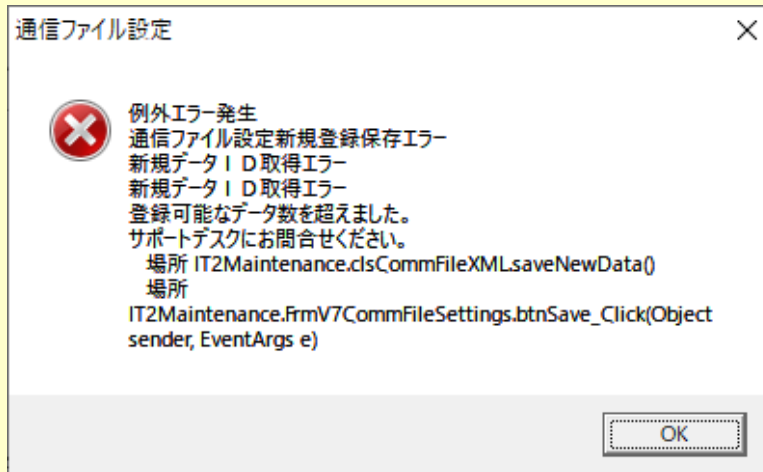
※データファイル自体は送信されていることを示すメッセージです。

付録 3－4. 通信ファイル設定保存時エラーに関するご質問

■通信ファイル設定エラー 1



通信ファイル設定画面の新規保存時に以下のようなメッセージが表示されました。



当エラーの原因は通信ファイル情報のデータ登録数の限界値（99,999）を超えたことによるものです。

※限界数はパターンファイルごとになります。

接続先ごとではありません。

通信ファイル情報のデータ登録数は削除したものも含まれるため通信ファイル情報を削除しても改善されません。

システムでの改善はできないため、サポート窓口までご連絡ください。

ご注意

- ・ 本製品の一部または全部を弊社の書面による許可なく複写・複製することは、その形態を問わず禁じます。
- ・ 本製品の内容・仕様は訂正・改善のため予告なく変更することがあります。
- ・ Microsoft、Windows7、Windows 8.1、Windows 10、.NET Framework は 米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ 記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

iTERAN／AE

Copyright© 富士通 Japan 株式会社 2022